

「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver. 2～(素案)」の 市民意見募集の実施について

町田薬師池公園四季彩の杜については、2014年6月に「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定し、これまで多くの事業を展開してきました。

この間、コロナ禍の経験による人々のライフスタイルや価値観の変化など、社会情勢は大きく変化しました。

これらの環境の変化による新たなニーズや現状の課題に対応するために「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver. 2～(素案)」をまとめましたので、市民意見募集を実施します。

1 概要

本計画(素案)では、四季彩の杜がこれからも多くの方に選ばれ続けるエリアとなるために、前計画の基本コンセプトを継承し、さらに何度でも訪れたくなる「ときめき楽しむライフスタイル」の視点を加えた基本理念を定めました。

そして、現状の課題と環境の変化による新たなニーズに対応した①花やみどり、②学びや体験、③にぎわい、④アクセス、⑤未来につながる運営、がキーワードとなる5つの基本方針を掲げ、その方針ごとに関連する取組と対応する指標を設定しました。

さらに、四季彩の杜において、今後10年間で行う基本方針と関連する取組としてまとめました。

2 市民意見募集

(1) 意見の募集期間

2023年6月21日(水)から2023年7月20日(木)まで

(2) 公表場所

市庁舎(観光まちづくり課、市政情報課、広聴課)、各市民センター・各連絡所、各市立図書館、町田薬師池公園四季彩の杜西園(ウェルカムゲート)での閲覧及び配布

(3) 周知方法

「広報まちだ掲載」7月1日号、市ホームページ

(4) 意見の提出方法

郵便、FAX、Eメール、ご意見入力フォーム(WEBでの回答)、窓口への提出

(5) 結果公表

市ホームページにて9月以降に公表予定



町田薬師池公園

概要版

四季彩の杜 魅力向上計画

～Ver. 2～ (素案)

計画
期間

2023 年度
—令和5年度—

≫

2032 年度
—令和14年度—

2023年6月

町田市



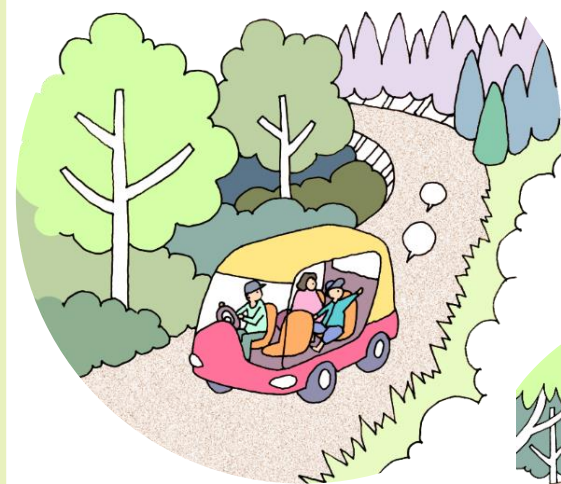
町田薬師池公園四季彩の杜は、
観光施設や豊かな自然環境、
歴史的資産を有した
広域なエリアの総称です。

この土地に流れる
時間・期間・季節・風景や
独特の雰囲気・空気感
「やくしの時間」を体感し、
暮らしの中の彩りとなる居場所を
皆様とご一緒に作りあげます。

この計画では、
2023年度から10年間の
大きな方向性・未来を示します。

これからの 四季彩の杜で楽しむ 四季折々のライフスタイル

四季彩の杜では、花、みどり、学び、体験、交流など、
様々なライフスタイルに合った時間を提供します。
これからの四季彩の杜のイメージをイラストに表しました。



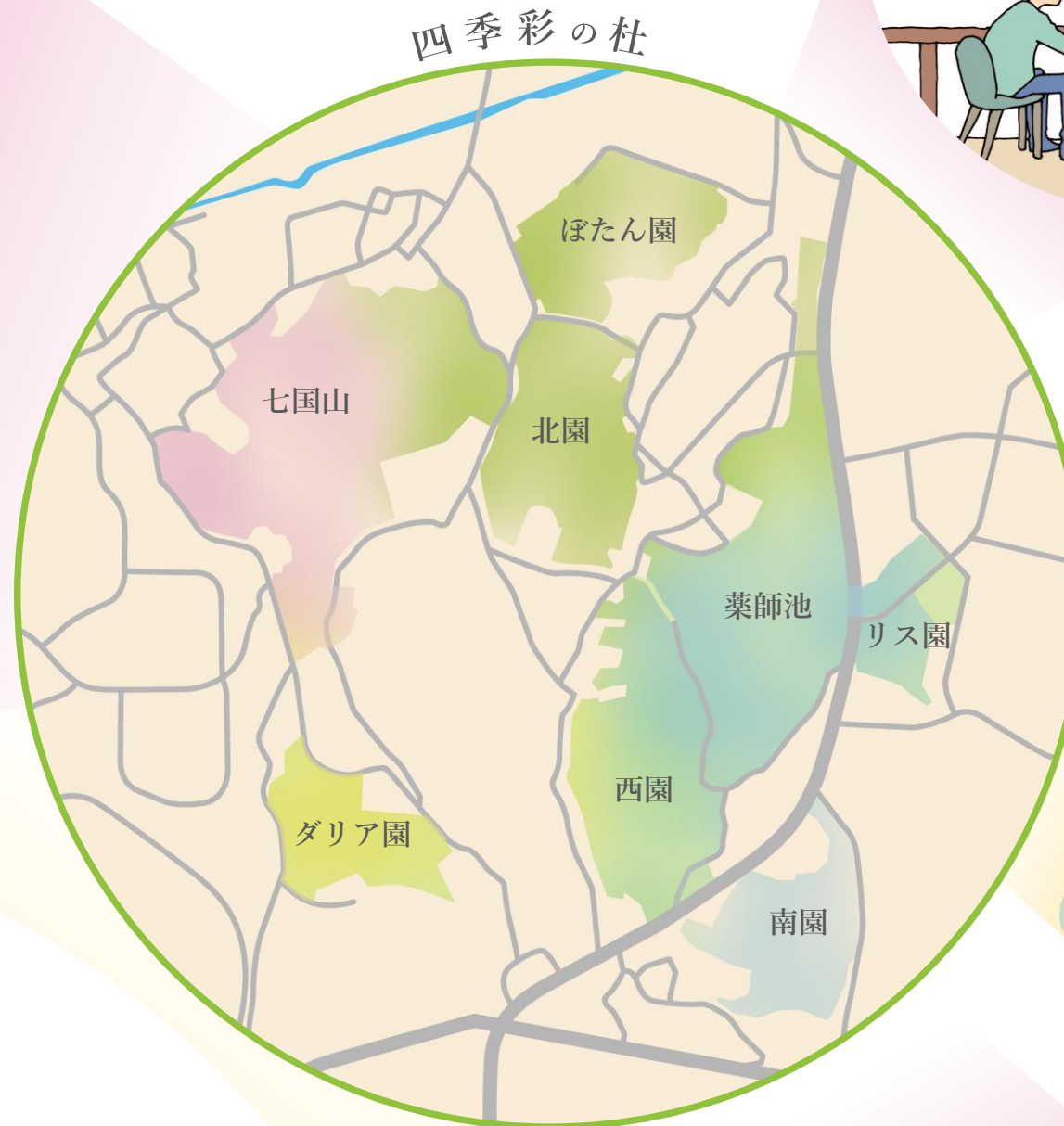
起伏のある地形が生み出す景色の変化を
楽しみながら移動する



四季折々の草花を通して
四季の移ろいを感じる



こどもたちが元気に遊べる
フィールドがある



自然の中でご飯を食べながら
ホッとするひと時を過ごす



小動物とふれあいにより
命の尊さや癒しを感じる



ハイキングの後に展望施設から
遠くの景色を見渡す



地域の方と協力しながら
次世代へよりよい環境をつなぐ



アクティビティや農産物の販売を通じ
地域の人と交流する



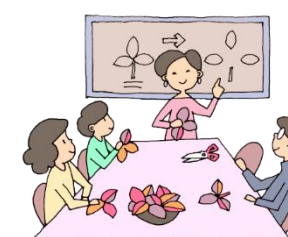
地域に精通したガイドから
歴史や自然の知識を学ぶ



自然を身近に感じながら
いろいろな施設を巡る



農体験を通じ
新鮮な農産物を収穫できる



地域交流ができる
学び・体験の拠点がある

四季を通じた、
季節が巡る、
将来世代に育て引き継ぐ、
やくしの時間が流れる

豊かな森、様々な花、
里山の景色、
農文化、地産品、
自然や動物とのふれあい、
歴史

学び、体験、参加、交流など
多様なニーズにフィットする、
花・風景・回遊を楽しむ、
豊かな・ちょっどいい、
暮らしの中の彩り

基本方針と関連する取組

ピンク 新規取組

水色 継続取組

基本 方針 1

四季折々に
何度でも訪れたい
花やみどりを
楽しめる場づくり



花園と回廊の設置



農体験の提供



景観の演出と
園路空間の活用



景観作物園の拡張と
農ある風景の演出



林床植物の保全



みどりの活用

基本 方針 2

子どもから大人まで
楽しめる
学びや体験の場づくり



新しい小動物との
ふれあいと学習機会の提供



特別な体験空間の提供



自由民権資料館との連携



学びと体験の提供

基本 方針 3

空間の
リニューアルによる
新たな
にぎわいの場づくり



新たなにぎわいと
心地良い空間の提供



展望施設の設置



休憩所の充実



観光スポットの
リニューアル



ウェルカムゲート
機能の充実

基本 方針 4

アクセスしやすく
スムーズに
回遊できる場づくり



多様なモビリティの導入



ハイ・シーズンの
臨時駐車場の確保



公共交通機関の利用推進



エリア内サインの
追加設置と統一化



フットパスコースの提供



駐車場収容力の向上と
円滑な案内誘導の実施



交通誘導サインの設置



楽しみを支える仕組みに関する方針

基本 方針 5

未来に
つながる
運営の仕組みづくり



包括的なエリア管理



ブランディング戦略の展開



情報の一元的な
収集・共有・発信



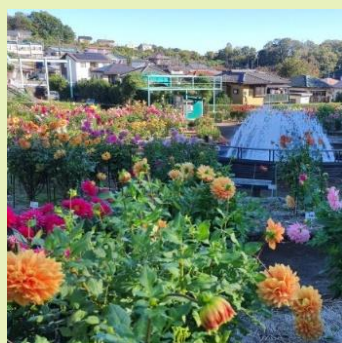
みどりの適正な保全



町田薬師池公園

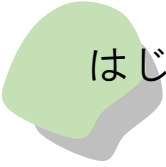
四季彩の杜 魅力向上計画

～Ver. 2～ (素案)



2023年6月

町田市



はじめに

町田薬師池公園四季彩の杜は、
観光施設や豊かな自然環境、歴史的資産を有した
広域なエリアの総称です。

この土地に流れる
時間・期間・季節・風景や独特の雰囲気・空気感
「やくしの時間」を体感し、
特別な日だけではなく、
普段でも立ち寄りたくなるような、
暮らしの中の彩りとなる居場所を
皆様とご一緒に作りあげます。

この計画では、2023年度から10年間の
大きな方向性・未来を示します。

目 次

1 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画とは	5
(1) 計画改定の背景	5
(2) 計画の目的	5
(3) 計画の期間	5
(4) 計画の対象	6
(5) 計画の位置づけ	7
2 現状と評価	8
(1) 魅力・ポテンシャル	8
(2) 前計画の方針ごとの成果	10
(3) ブランディングの成果	15
(4) 環境の変化による新たなニーズ	16
3 基本理念	17
これからの四季彩の杜で楽しむ四季折々のライフスタイル	18
春の資源とアクティビティ	20
夏の資源とアクティビティ	22
秋の資源とアクティビティ	24
冬の資源とアクティビティ	26
4 基本方針	28
(1) 基本方針	28
(2) 基本方針に対応する取組	29
(3) 基本方針の取組を展開する施設	42
(4) 取組の工程表	44
5 未来への継承	46
6 計画の推進体制	48
参考資料	50
(1) アンケート結果	50
(2) 計画の策定体制及び検討内容	63
(3) 施設概要	65

1 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画とは

(1) 計画改定の背景

町田薬師池公園四季彩の杜（以下「四季彩の杜」という。）は、町田市を代表する公園である薬師池をはじめ、西園（ウェルカムゲート）、リス園、ぼたん園、ダリア園、七国山など、観光施設や豊かな自然環境、歴史的資産を有した市の中央部に位置する広域なエリアの総称です。

町田市では、四季彩の杜が“地域への愛着や誇りが醸成されるような観光拠点”となることを目指して、2014年6月に「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定し、これまで多くの事業を展開してきました。こうした取組の成果により、四季彩の杜全体の来園者数は毎年増加しており、2022年度は延べ131万人と過去最高の賑わいをみせています。特に、2020年4月に開園した西園は、市内外からも多くの方が訪れ、来訪者から高い満足度を得ています。

また、西園の開園とともに、ブランドロゴやブランド・アイデンティティを使った一体的なプロモーション活動をはじめとした四季彩の杜全体でのブランディングを本格的に展開しています。これにより来訪者の増加などの一定の成果がみられる一方で、アンケート調査では四季彩の杜の認知度不足等の課題が表れています。

2022年度にスタートした「まちだ未来づくりビジョン2040」^{※1}や「ゼロカーボンシティまちだ」^{※2}の実現、持続可能な世界を実現するための国際社会全体の開発目標（SDGs）^{※3}の達成に向けて、四季彩の杜がさらに魅力的なエリアとなるように、各関係主体が一体となり取り組む必要があります。

(2) 計画の目的

本計画は、エリア全体に賑わいを創出するとともに、効率的で効果的なエリア管理や運営を行うための、これからの四季彩の杜の方向性を示すことを目的とします。町田を代表する観光拠点として、市内外から多くの方が訪れる「町田のシンボル」となるエリアを目指します。

(3) 計画の期間

本計画の実施期間は2023年度から2032年度の10年間とします。

また、2033年度以降にも継承したい取組について「5 未来への継承」において記載しています。

※1 まちだ未来づくりビジョン 2040：2040年に向けて、誰もが夢を持ち、幸せを感じることができるまち、「なんだかんだ言っても、やっぱりまちだが一番」と思えるまちを目指すために、市民をはじめとした多くの人たちの声や思いからつくった町田市の基本構想・基本計画。

※2 ゼロカーボンシティまちだ：脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消の取組みを進め、温室効果ガス排出実質ゼロを目指す、環境先進都市をいう。

※3 SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている。

(4) 計画の対象

本計画の対象は、四季彩の杜を構成する以下の施設とします。

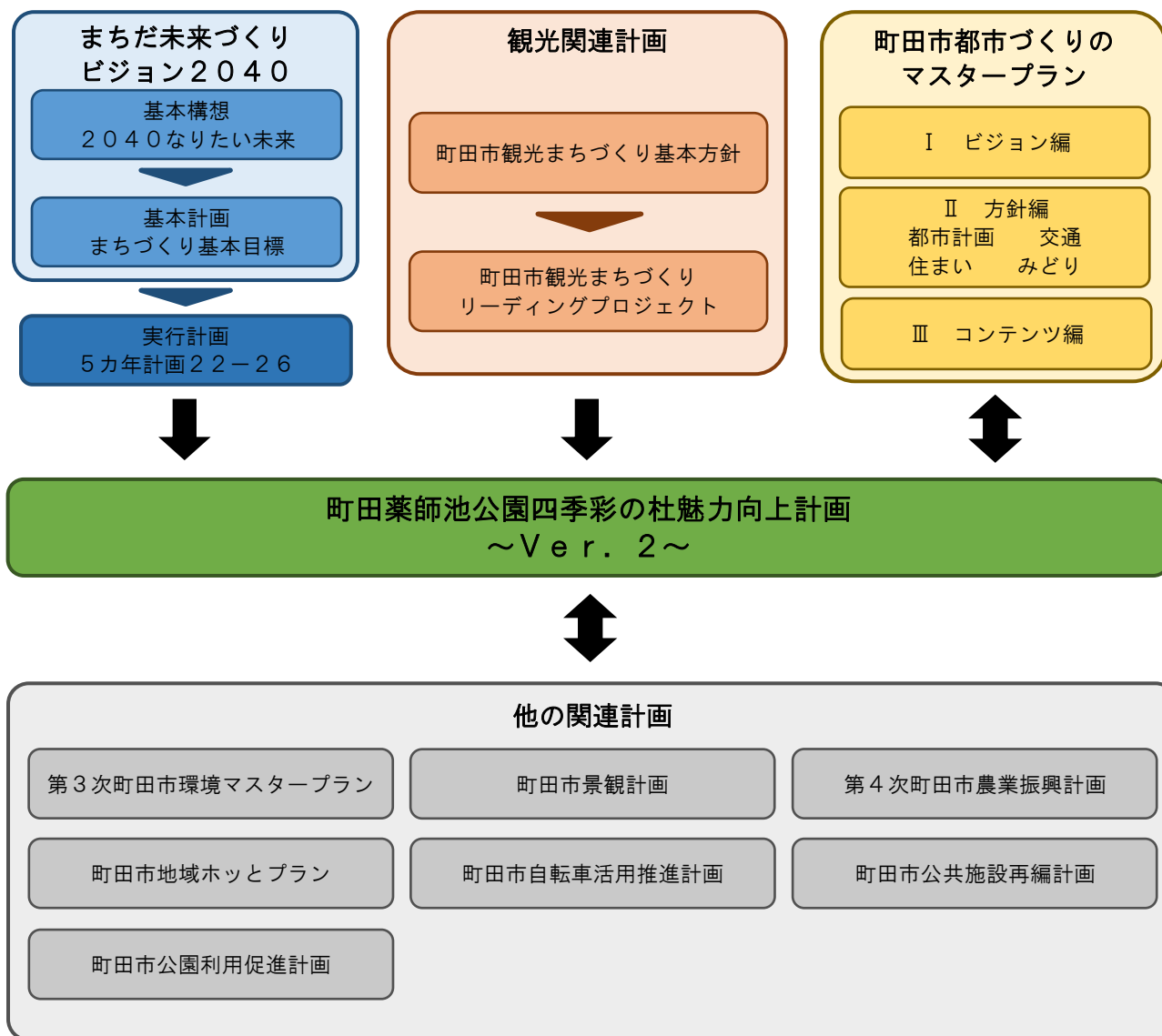
※本計画では、四季彩の杜全体を「エリア」、個々の施設や公園を「施設」という表現で統一します。（参考資料3.施設概要参照）

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| ① 薬師池（町田市フォトサロンを含む） | ② 西園（ウェルカムゲートを含む） |
| ③ リス園 | ④ ぼたん園（民権の森緑地保全地域を含む） |
| ⑤ 北園（七国山ファーマーズセンター、ふるさと農具館を含む） | |
| ⑥ 七国山 | ⑦ ダリア園 |
| ⑧ 南園（えびね苑を含む） | |



(5) 計画の位置づけ

本計画は、「まちだ未来づくりビジョン2040」に掲げる“なりたいまちの姿”に至るための関連する政策（「政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる」、「政策8 思わず出歩きたくなるまちになる」）及び町田市観光まちづくり基本方針の施策（基本施策1 町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ）に対応します。また、町田市都市づくりのマスタープランについても対応するとともに、コンテンツ編の「まちづくり構想等」に位置づけます。さらに、他の関連計画との整合を図りながら事業を推進します。



2 現状と評価

(1) 魅力・ポテンシャル

● 四季折々の花

四季彩の杜では、薬師池のウメやツバキ、花しょうぶに加え、えびねやダリア、景観作物の菜の花やそばの花といった四季折々の美しい花々が咲き誇ります。現在も、花々の風景を楽しむ人や撮影を楽しむ人など多くの方が花々を目的に四季彩の杜を訪れています。



ツバキ

● 豊かな樹木や農耕地景観

薬師池周辺地域は、傾斜地や尾根部の一部にクヌギやコナラから構成される雑木林や杉・ヒノキ植林からなる樹林景観があります。

かつて、薪炭林として利用されていた樹木林をはじめ、現在も施設間に広がる農耕作地など、古くから人の手が入った自然と人の暮らしが一体となった里山の景観をつくり出しています。



豊かな樹林

● 町田の歴史の集積地

薬師池の由来と言われている野津田薬師堂が薬師池のそばに立地し、この地の歴史を伝える重要な要素となっています。エリア内には、寺社仏閣や、旧永井家住宅、旧荻野家住宅といった古民家、鎌倉古道とそれに由来した伝鎌倉井戸、石阪昌孝の墓などの自由民権運動に関連する歴史施設が分布しています。



野津田薬師堂

● 遊び・学びの場

西園では、「ラボ・体験工房」で様々なワークショップや講座「やくしの学び」が連日開催されています。



ラボ・体験工房

リス園は、放し飼い広場のリスをはじめとした小動物とふれあうことのできる楽しい遊びの場でありながら、「命の大切さ」を学ぶ場でもあります。



ふれあい体験

● 農産業と交流の場

四季彩の杜では、各所で地域の生産者の農産物などを販売しています。新鮮な農産物を心待ちにしているリピーターも多く、来訪者は時に生産者と言葉を交わしながら旬の農産物を購入することができます。

西園の直売所では、町田市名産品、酒類、手作りの器等、地域の魅力的な商品が集まる町田市のアンテナショップになっています。



やくしLOCALファーマーズマーケット

● 起伏にとんだ地形が生む独特の景色と

地形的連続性をもたらす回遊の楽しさ

丘陵の頂上部の標高は概ね100m～130m、谷部は概ね60m～70mとなっており、標高差は概ね30m～70mとなっています。丘陵の頂上部からは富士山が望めるほど眺望がよく、古くは七つの国が望めたほどでした。

この起伏にとんだ地形の中に公園等の多様な施設が連続的に広がり、移動した先の地点によって風景が変わることで、来訪者に飽きない体験を提供しています。



七国山からの展望

コラム

薬師池の成り立ちについて

薬師池は、福王寺谷と呼ばれる谷戸に湧き出る水を、堤で堰き止めてつくった溜め池で、明治時代頃まで溜め池のほとりにあった福王寺（現在の薬師堂）にちなみ、「福王寺池」「福王寺溜井」と呼ばれていました。いつごろ造られたのか、はっきりしませんが、一番古い時期を示している史料では、小田原北条氏の支配下にあった天正年間（1573-92）に造成されたとあります。

溜め池の面積は約2000坪で、溜め池の水は鶴見川方面に向かってひろがる約7ヘクタールの水田の農業用水として利用されました。

風水害などの自然災害により、たびたび溜め池が埋まる被害にも見舞われました。例えば、富士山の宝永噴火の際には、雨水などによって周辺に降った火山灰が流れ込み、十分な水が確保出来なくなりました。そのため大規模な溜井浚いが計画され、村びとをはじめ領主や他村の人びとの協力を得て工事がおこなわれました。こうした自然災害に幾度となく襲われながらも、村びとの生活を支えるため、そのたびに復旧工事をして維持してきました。

突起状になっているところには、かつて弁財天の祠があり、ところどころに松などが植えられるなど、単なる溜め池ではなく、早くから景観を意識した公園の役割を持った池であったとする研究もあります。



1817年の薬師池（絵図）

(2) 前計画の方針ごとの成果

2014年6月に策定した「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」では、基本コンセプトを『四季を通して花・風景・回遊を楽しめる魅力ある公園』と設定しています。

そして、その基本コンセプトのもと7つの方針を定めています。下記の表は、その方針ごとの実施事業の実績を記載しています。

また、次ページ以降では7つの方針ごとに、事業による成果と現状の課題について、次のとおり整理します。

● 2014年策定「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」

基本コンセプト 四季を通して花・風景・回遊を楽しめる魅力ある公園

方針		実施事業（実績）	
1	四季折々一年を通して楽しむことができる場	ソフト	春フェア、紅葉のライトアップ、こどもの日のイベント、ブルーベリー摘み取り、足湯体験など
		ハード	ラボ・体験工房の整備、ライブラリー・ラウンジの設置など
2	里山観光の拠点としての一体性の構築	ソフト	地域イメージアップイベントの開催、エリア内スタンプラリーの開催、ウォークツアーの開催など
		ハード	ウェルカムゲートの整備、四季彩の杜ホームページの開設など
3	施設個々の魅力向上と町田を発信するソフト事業の継続展開	ソフト	しょうぶ・あじさいまつり、観蓮会、二ホンリス展示ブースの設置、ダリアの名称公募、地域回遊イベントの実施など
		ハード	カフェ・レストラン、直売所の設置、池水浄化システムの整備、歴史案内板の設置など
4	地域へのアクセス、施設間のスムーズな回遊性の実現	ソフト	公共交通利用の啓発、施設間巡回バスの運行など
		ハード	エリア内サインの設置、シェアサイクルポートの設置、連節バスの試験運行など
5	利用の核となる拠点の整備	ソフト	町田市観光コンベンション協会との協働
		ハード	ウェルカムゲート整備、西園前バス停の整備など
6	町田市民の参加・交流による相乗効果の醸成	ソフト	農体験、菜種油しぼり体験、各施設が連携したイベントの開催、観光案内人養成講座など
		ハード	農の体験施設整備など
7	里山景観・眺望、みどりを活かした地域づくり	ソフト	山野草観察会、ダリアガイドツアーなど
		ハード	自然観察路整備など



各方針の事業による成果と現状の課題（次ページに続く）

※ソフト：ソフト事業（イベントやサービス等）ハード：ハード事業（施設整備等）

1. 四季折々一年を通して楽しむことができる場

事業による成果

- ・草花を中心に四季を楽しむための選択肢は増え、一年を通して楽しめる場の提供が進んでいます。2022年度の各月平均の来園者は前年度から約4,500人増加しています。
- ・西園の開園により、年間来訪者数は増加傾向にあり、2022年度は131万人となりました。
- ・子ども向けイベントによって親子連れの来訪が増えています。ライブラリー・ラウンジや、オープンキッチン付きのフリースペースであるラボ・体験工房を設置しました。



紅葉まつり

現状の課題

- 【課題1】四季を通じて花やみどりがさらに楽しめるよう草花を計画的に配置する必要があります。来訪者がいつ来ても見どころがあるよう、施設全体で開花時期を考慮して花を配置します。併せて、既存の木々や草花も、適切に植栽管理する必要があります。
- 【課題2】何度でも訪れたくなるような好循環を生み出す場を提供する必要があります。2022年度に実施した施設利用者アンケート（以降、「利用者アンケート」）の結果、年2回以上来園するリピーターは全体の54%と低い結果となっています。
- 【課題3】子どもを対象とした場の整備やイベントのさらなる充実が望まれます。利用者アンケートの結果、購買施設のほか、「自然を活かしたフォレストアドベンチャー」や「子どもを中心とした遊具や遊び場」などの割合が高くなっています。

2. 里山観光の拠点としての一体性の構築

事業による成果

- ・総合案内所の設置や、ホームページ・SNSの開設により、情報発信拠点ができました。ホームページやInstagram、動画配信を通じて情報発信を行っています。
- ・四季彩の杜の各施設運営者や町田市観光コンベンション協会、町田市で構成する施設運営連絡協議会の開催により、情報共有や連携イベント実施など一体性が構築されつつあります。



インフォメーション

現状の課題

- 【課題1】総合案内所機能をさらに強化し、四季の見どころや来訪者ニーズを踏まえた情報などの継続した提供が必要です。来訪者が増加した西園への来訪を契機とし、他施設への来訪者を増やすため、観光拠点としてのブランド力向上に取り組んでいきます。
- 【課題2】エリア内を巡るために各施設が連携し、ホームページやSNSを用いて一体性をもった情報を継続的に発信する必要があります。利用者アンケートの結果、四季彩の杜の名称を知らない人が全体の約47%、また、1つの施設しか利用していない割合は約22%でした。施設運営連絡協議会の立ち上げにより各施設間の連携は強化しましたが、一体的なプロモーションなど運用には課題が残っています。

3. 施設個々の魅力向上と町田を発信する ソフト事業の継続展開

事業による成果

- ・西園の「カフェ・レストラン」や「直売所」は、2021年度には12万人以上が利用しており、好評です。また、定期的に行っているファーマーズマーケットも人気が高いイベントです。
- ・施設間連携イベントや各施設で特色あるイベントを実施し、積極的な情報発信を行うことで、メディアなどで取り上げられる機会が増え新たな顧客が来訪しています。



地域回遊イベントのポスター

現状の課題

- 【課題1】好事例を分析し、他の施設への改善につなげていく必要があります。利用者アンケートでは、充実してほしい設備や機能について、「屋内外の休めるところ(カフェ、ベンチ等)」や「食事ができるところ(レストラン等)」の割合が高いです。
- 【課題2】既存施設の魅力を向上するために、**施設の老朽化や新たなコンテンツの提供**などに対応する必要があります。薬師池やリス園など集客力の高い施設の老朽化が進んでおり、改善が必要です。また、ダリア園では利用者アンケートから「写真撮影スポット」の要望も多い傾向であり、新たなコンテンツとなる可能性があります。
- 【課題3】地域の自然や文化、歴史などの特色を活かしたテーマ性のあるイベントによって、**幅広いニーズに合う事業**を行う必要があります。また、七国山には「鎌倉古道」、ぼたん園には自由民権運動にまつわる記念碑といった様々な地域の歴史的遺産が点在しています。これらを有効的に活用する必要があります。

4. 地域へのアクセス、施設間のスムーズな回遊性の実現

事業による成果

- ・西園駐車場の整備により、エリアへのアクセスの選択肢が増えました。また、入庫レーンの設置により、西園駐車場へのスムーズな入庫につながっています。
- ・エリア内サインの設置により、エリア内移動のための利便性向上を図りました。
- ・シェアサイクルの設置により、エリア内を回遊するための選択肢が増えました。
- ・連節バスの乗り入れも可能なバスベイが西園前に整備され、イベント開催時に連節バスを運行させるなど、渋滞緩和と公共交通機関の利便性の向上につながっています。



連節バス

現状の課題

- 【課題1】ハイ・シーズン時の渋滞解消のため、鎌倉街道の整備とあわせて、駅からの案内の充実や公共交通機関の利用促進、**公共交通機関の利便性の向上**が必要です。また、必要に応じて臨時駐車場のスペース確保等の検討が必要です。
- 【課題2】エリア内のさらなる**回遊性向上**のため、移動しやすさ、案内のわかりやすさが必要です。バスベイが整備され利便性が向上した一方、鶴川方面からの利用し易さや、鎌倉街道を横断する歩行者の安全確保の為の案内についても必要となっています。

5. 利用の核となる拠点の整備

事業による成果

- ・ 総合案内所機能を備えた西園の開園によって、利用の核となる拠点ができました。西園の年間来場者数は四季彩の杜全体の来場者数に対し、約50%を占めています。
- ・ 西園前のバスベイの整備により、ウェルカムゲートへの利便性が向上しました。町田駅発着の一般路線に加え、臨時便の連節バスの停車も可能になりました。



ウェルカムゲート

現状の課題

- 【課題1】エリア内の情報を一括で得られる拠点として総合案内所機能を強化、継続していく必要があります。総合案内所へ各施設の開花状況や駐車場の情報などの問い合わせが多数寄せられています。また、利用者からホームページがわかりづらいとの声があります。常時、最新情報を集約し、総合案内所の体制を整えるとともに、わかりやすくインターネット上で公開する必要があります。
- 【課題2】利用者の多い町田駅などターミナル駅での周知活動が求められます。エリア外での情報発信を、町田市観光コンベンション協会と連携して強化していく必要があります。

6. 町田市民の参加・交流による相乗効果の醸成

事業による成果

- ・ 西園で開催される様々な講座「やくしの学び」や農体験などによって、市民参加や交流が行われています。多彩なイベントがほぼ毎日開催されており、リピーターも多く人気となっています。
- ・ 町田市観光コンベンション協会が地域ガイドの補強のために、観光案内人養成講座を行っています。2022年9月、「まちだ観光案内人」が新たに17名誕生しました。薬師池の花しょうぶ・あじさいの案内ガイドや紅葉まつり、ぼたん園のガイドなどで活躍しています。



花しょうぶガイド

現状の課題

- 【課題1】地域と連携したイベントを継続していく必要があります。「まちだ観光案内人」が四季ごとに草花の魅力を伝えることで、リピーターの獲得につなげていきます。また、多くの観光客が訪れる時期の需要に応えられる、観光案内人の育成を継続していきます。
- 【課題2】市内で活動している個人や団体のエリアへの参加の働きかけが必要です。西園のラボ・体験工房は、会議や地域の集会などで利用されています。今後さらに周知を行い、地域活動参加へのきっかけの場となることを目指します。

7. 里山景観・眺望、みどりを活かした地域づくり

事業による成果

- ・ 菜の花やそばの花といった景観作物を計画的に栽培し、季節ごとに魅力的な景観を生み出しています。多くの人が散策や眺望の良い景観を求め、訪問しています。



里山景観

現状の課題

- 【課題1】多様な主体の参加により持続的に**花やみどりを守る**ことが必要です。利用者アンケートでは草花にどのような楽しみ方を求めているかに対して、「草花を鑑賞したい」や「草花を撮影したい」の割合が高くなっています。花やみどりを活用した施策や地域づくりが求められています。
- 【課題2】花やみどりとの**ふれあいの機会**や人々の交流促進が必要です。利用者アンケートでは草花に対して鑑賞や撮影のほか、「草花や地場産品の商品を使いたい、食べたい」の割合も高く、自然とのふれあいや人々の交流促進のため、ファーマーズマーケット等の地域に根付いた取組を検討することが必要です。
- 【課題3】魅力的な景観を将来にわたって保全するために**適切な森林管理**が必要です。近年、森林病虫害の被害により、樹木の枯れが多数確認されています。森林景観の悪化にもつながるため、樹木の間伐と育成のバランスが必要です。

(3) ブランディングの成果

西園の開園に向け2018年3月に策定した「町田薬師池公園四季彩の杜西園エリア管理運営方針」では、四季彩の杜のブランド・アイデンティティとして『「やくしの時間（とき）」の体感と暮らしの彩り』を提供していくと定めています。

また、エリア全体でのブランディングを進めるため、ブランドロゴを定め、ホームページを開設するなど、一体的なプロモーション活動を行ってきました。

その成果もあり、西園は2020年の開園以来、毎年50万人以上の方が訪れ、賑わいをみせています。また、ブランディングの展開は、西園の開園とともに本格的に実施し、「やくしの時間」を体感できる「やくしの学び」が人気など、一定の成果がみられます。

しかし、アンケート調査では「町田薬師池公園四季彩の杜」の名称に対する来訪者の認知度は低く、利用目的が個別施設のみの方もおり、施設間連携による相乗効果が効果的に発揮できていない状況にあります。



ブランド・アイデンティティ

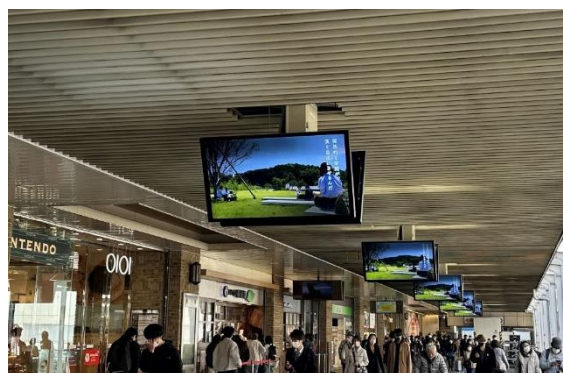
「やくしの時間（とき）」の体感と暮らしの彩り

「やくしの時間」とは、町田薬師池公園四季彩の杜に流れる時間・期間・季節・風景や独特の雰囲気・空気感を表しているものです。

この土地に流れる独特の「やくしの時間」をかえがたい魅力としてとらえ、特別な日だけではなく、普段でも立ち寄りたくなるような、暮らしの中の彩りとなる居場所を提供していきます。



四季彩の杜の動画配信



デジタルサイネージでのPR

(4) 環境の変化による新たなニーズ

本計画では、「(2) 前計画の方針ごとの成果」とは別に、前計画策定後の社会情勢の変化を捉えた環境の変化による新たなニーズとして下記の視点も加えます。

● 学びや体験へのニーズの高まり

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器が普及し、個人の体験がSNSなどで共有されるようになり、あらゆる体験が身近に感じられるようになりました。

消費行動は従前の「モノ」「コト」から、若い世代を中心に、今ここでしか体験できない、「トキ」を楽しむことに価値を見出すようになっていきます。四季彩の杜でも西園の「ラボ・体験工房」で開催される様々なワークショップや講座「やくしの学び」が人気となっています。このことは新たな四季彩の杜の楽しみ方の可能性を広げています。

● 様々なライフスタイルに合わせた楽しみ方

コロナ禍を経験し、生活が一変したことにより、生き方そのものを見つめ直すきっかけになった人は多く、社会や地域とのつながり、健康の大切さを再認識した人が増えています。また、テレワークも急速に普及し、場所を選ばず仕事ができるようになりました。

暮らし方に変化が現れ、四季彩の杜に求められる価値が以前より多様化しています。

このエリア最大の魅力でもある豊富な樹林景観を一日かけて散策する人、「カフェ・レストラン」でテレワークを行う人、「ラボ・体験工房」のワークショップで地域交流を行う人など、様々なライフスタイルに合った四季彩の杜の魅力を提供する必要があります。

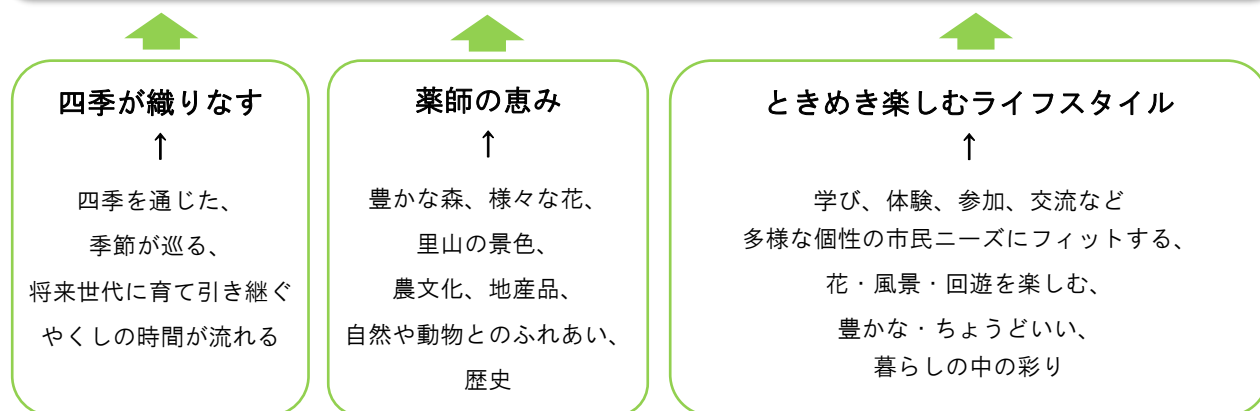


にぎわうカフェ・レストラン

連日開催されるやくしの学び

3 基本理念

四季が織りなす 薬師の恵みに ときめき楽しむライフスタイル



四季彩の杜は、四季折々の美しい花や豊かな樹木・農耕地の景観を有し、さらに町田市を代表する歴史施設が立地するなど多くの魅力やポテンシャルを内包するエリアです。

2014年6月「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」では、基本コンセプト『四季を通して花・風景・回遊を楽しめる魅力ある公園』を定め、エリアの魅力を向上するべく様々な取組を展開してきました。また、2018年3月策定の「町田薬師池公園四季彩の杜西園エリア管理運営方針」では、四季彩の杜のブランド・アイデンティティを『「やくしの時間（とき）」の体感と暮らしの彩り』と設定し、四季彩の杜に流れる独特の魅力を体感し、特別な日だけではなく、普段でも立ち寄りたくなるような、暮らしの中の彩りとなる居場所の提供を目指してきました。

2020年4月の西園開園は、散策や憩い、風景を楽しむといった、これまでの公園のあり方に変化をもたらしています。新たな公園の利用方法として学びや体験、交流の機会の場を提供するようになり、子どもから大人までが学習できるイベントでにぎわいが生まれています。

また、コロナ禍によるライフスタイルの変化は、野外活動や農作業、保養などの自然とのふれあいの需要を呼び起こし、本エリアの地域資源の存在意義をさらに高めています。今後も様々なライフスタイルにあった空間や体験を通して、来訪者それぞれが思い思いに楽しみ、心地よく感じられる四季彩の杜の魅力を提供していく必要があります。

前計画の基本コンセプトを継承し、何度でも訪れたくなる「ときめき楽しむライフスタイル」の視点を加えた基本理念を定め、四季彩の杜の魅力向上を推進します。

この基本理念を体現したこれからの四季彩の杜をイメージできるように、次ページでは「これからの四季彩の杜で楽しむ四季折々のライフスタイル」をイラストで表しました。また、季節ごとの四季彩の杜での楽しみ方の一例として、P20からP27では四季の「資源とアクティビティ」を掲載しています。

これからの 四季彩の杜で楽しむ 四季折々のライフスタイル

四季彩の杜では、花、みどり、学び、体験、交流など、
様々なライフスタイルに合った時間を提供します。
これからの四季彩の杜のイメージをイラストに表しました。



起伏のある地形が生み出す景色の変化を
楽しみながら移動する



こどもたちが元気に遊べる
フィールドがある



四季折々の草花を通して
四季の移ろいを感じる



ハイキングの後に展望施設から
遠くの景色を見渡す



地域の方と協力しながら
次世代へよりよい環境をつなぐ



アクティビティや農産物の販売を通じ
地域の人と交流する



地域に精通したガイドから
歴史や自然の知識を学ぶ



自然を身近に感じながら
いろいろな施設を巡る

四季彩の杜



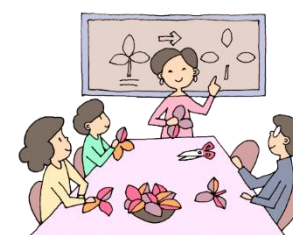
自然の中でご飯を食べながら
ホッとするひと時を過ごす



小動物とふれあいにより
命の尊さや癒しを感じる

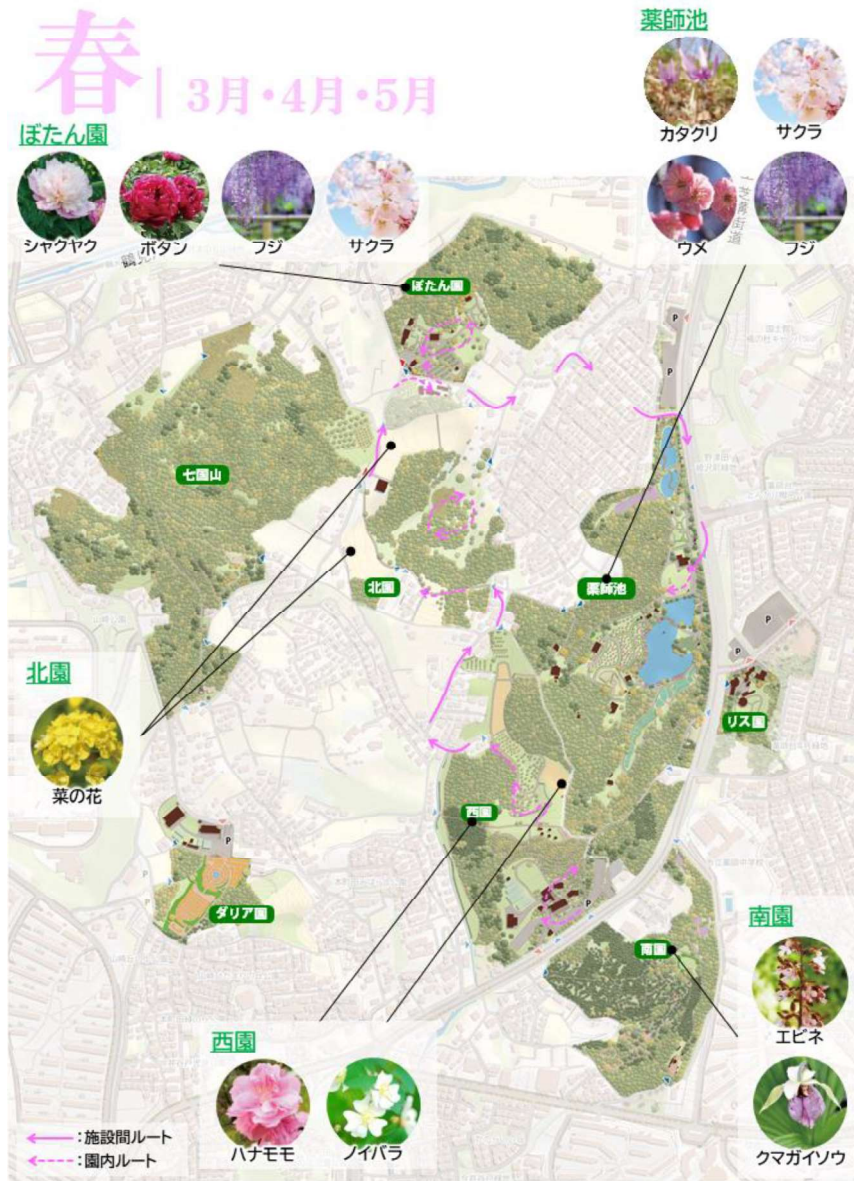


農体験を通じ
新鮮な農産物を収穫できる



地域交流ができる
学び・体験の拠点がある

● 春の資源とアクティビティ



時間ごとの体験								利用者像	利用目的
8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
西園	北園	ぼたん園	薬師池						
インフォメーションで今日の情報収集	ふるさと農具館で菜種油しぼりを体験。	満開のぼたんを鑑賞。キッチンカーでランチを購入。広場でピクニック。	薬師池をバックに家族で記念撮影。						
								Aさんファミリー 父母（40代） 子1人（15歳） 町田市相原町周辺に在住	草花が好きで、年に数回訪問。 今回は、SNSで菜種油しぼり体験の開催とぼたん、しゃくやくが見ごろと知り、訪問。



インフォメーション



菜種油しぼり



キッチンカー

体験カレンダー		3月 ひな祭り	4月 お花見	5月 こどもの日
催事	春フェア（全施設）			
	梅まつり（薬師池）			
	ぼたん・しゃくやくまつり（ぼたん園）			
	えびね苑開苑（南園）			
	こどもの日のイベント（西園）			
学び	やくしの学び（西園から薬師池、北園、七国山へフィールドを拡大していく）	カルチャー・ワークショップ・プログラム、里山ガイドウォーク、ガーデニング教室、野菜づくり教室、草木染、花摘み、草花や歴史文化の勉強会など		
	小動物とのふれあい（リス園）	うさぎさんのお庭、集箱づくりなど		
	菜種油しぼり（ふるさと農具館）	実演と販売		
	写真展示（フォトサロン）	春の薬師池撮影会など		
ライフスタイル	やくしLOCALファーマーズマーケット（西園）	地場産品の販売促進（採れたて春野菜の販売やミニトマトすくいなど）		
	健康プログラム（全エリア）	ノルディック・ウォーキング、里山散策、新緑の森林セラピーなど		
	農体験、調理体験、食体験（西園、薬師池、ぼたん園）	野菜づくり、収穫野菜の調理体験、四季折々の食体験、菜の花摘み取り体験、菜種絞り体験など		
	アウトドアプログラム（西園・北園）	グランピング、野外本棚など		
	農園・里山ボランティア（全エリア）	雑木林の育成や自然観察会など		
	球根販売（ダリア園）			
	緑豊かなまちづくり（全エリア）	ガーデニング、緑化活動など		

● 夏の資源とアクティビティ



時間ごとの体験				利用者像	利用目的
8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00				大学生Bさんたち サークル仲間4人 都内大学に通学 都内に在住	ホームページで グランピング体 験ができること を知り、サーク ル仲間と、初め ての訪問。
					
HPでグラン ピングの予約 状況を確認。		午前中の 涼しいうち に里山散歩。			
みんなで グランピング。		アプリで 電動 キックボード を予約。			
		ひまわり畑で 写真撮影。 グランピングで 美味しかった食材を お土産に購入。			



里山散歩



グランピング



ひまわり畑

体験カレンダー		6月 田植え	7月 七夕	8月 夕涼み
催事	しょうぶ・あじさいまつり (薬師池)			
	アジサイ特別開苑 (えびね苑)			
	観蓮会 (薬師池)			
	オリジナルダリア名前募集 (ダリア園)			
	こどもイベント (フォトサロン)			
	ブルーベリー狩り (ダリア園)			
学び	やくしの学び (西園から薬師池、北園、七国山へフィールドを拡大していく)	カルチャー・ワークショップ・プログラム、里山ガイドウォーク、ガーデニング教室、野菜づくり教室、草木染、花摘み、草花や歴史文化の勉強会など		
	小動物とのふれあい (リス園)	うさぎさんのお庭、巣箱づくりなど		
	まちだ観光案内人による園内ガイドウォークツアー (薬師池・南園)			
	菜種油しぼり (ふるさと農具館)	実演と販売		
	ガイドツアー (ダリア園)			
	写真展示 (フォトサロン)	太陽の光でつくる青写真講座など		
	やくしLOCALファーマーズマーケット (西園)	地場産品の販売促進 (採れたて夏野菜や手作りジェラートの販売など)		
ライフスタイル	健康プログラム (全エリア)	ノルディック・ウォーキング、里山散歩など		
	農体験、調理体験、食体験 (西園、薬師池、ぼたん園)	野菜づくり、収穫野菜の調理体験、四季折々の食体験、虫とり体験など		
	アウトドアプログラム (西園・北園)	グランピング、夏休みのこども向けイベントなど		
	農園・里山ボランティア (全エリア)	雑木林の育成や自然観察会など		
	緑豊かなまちづくり (全エリア)	ガーデニング、緑化活動など		

● 秋の資源とアクティビティ



時間ごとの体験						利用者像	利用目的				
8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	Cさん 3世代ファミリー 父母（30代） 子1人（4歳） 祖父母（60代） 町田市内に在住	祖父母はよく散歩で訪れる。 散歩中、そば打ち体験があることをチラシで知り、孫を連れて訪問。
そばを収穫		水車でそばを引く、そば粉を作る。		そば打ち体験。 その後、孫が切ったそばをみんなで実食。		電動モビリティで移動		ダリアガイドツアーに参加。 孫と一緒にダリアを学ぶ。			



そば畑



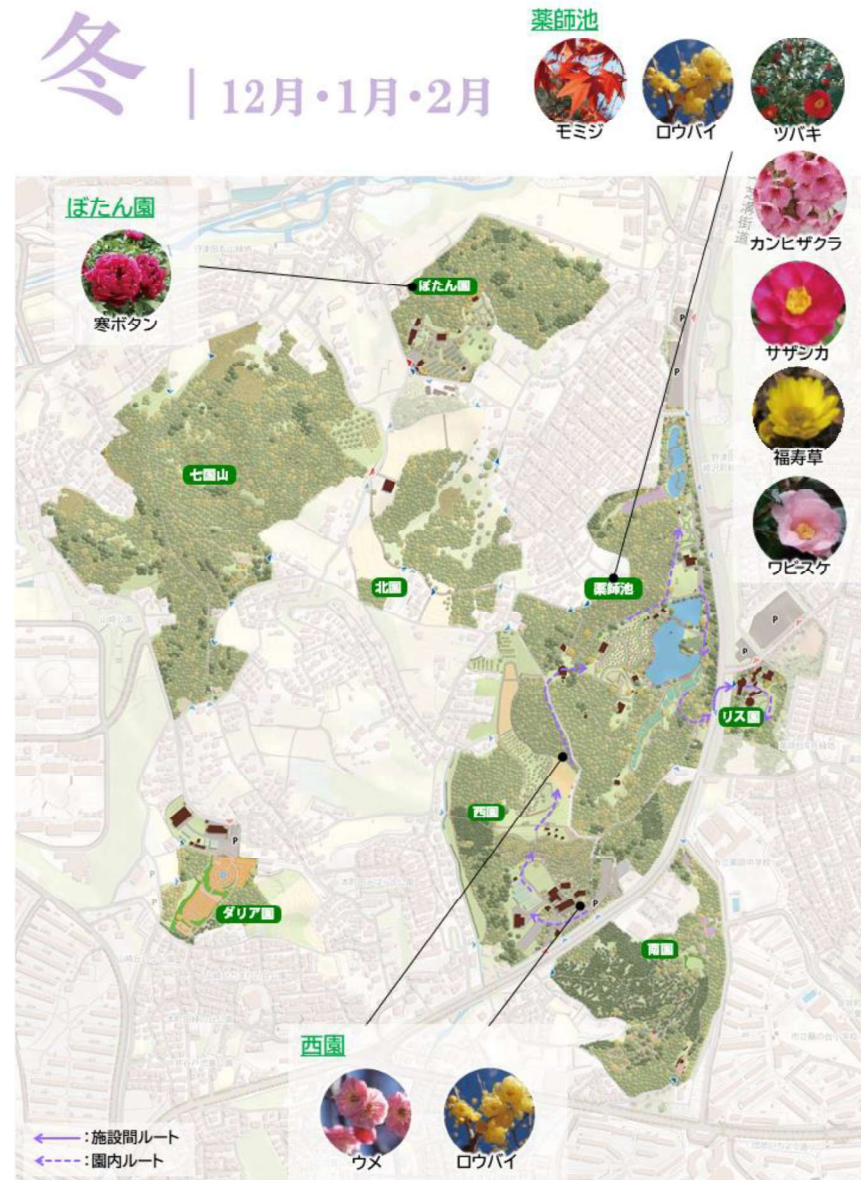
水車



ダリア

体験カレンダー		9月 お月見	10月 スポーツの日	11月 収穫祭
催事	かがやきまつり(ダリア園)			
	秋遊び(全施設)			
	ナイトシネマ(西園)			
	紅葉まつり(薬師池)			
	秋の行楽イベント(西園)			
	ダリア撮影会(ダリア園)			
学び	やくしの学び(西園から薬師池、北園、七園山フィールドを拡大していく)	カルチャー・ワークショップ・プログラム、里山ガイドウォーク、ガーデニング教室、野菜づくり教室、草木染、花摘み、草花や歴史文化の勉強会など		
	小動物とのふれあい(リス園)	うさぎさんのお庭、巣箱づくりなど		
	まちだ観光案内人による園内ガイドウォークツアー(薬師池)			
	菜種油しぼり(ふるさと農具館)	実演と販売		
	ガイドツアー(ダリア園)			
	写真展示(フォトサロン)	ダリア撮影会、紅葉撮影会など		
	ライフスタイル			
ライフスタイル	やくしLOCALファーマーズマーケット(西園)	地場産品の販売促進(採れたて秋野菜や蕎麦もち団子の販売など)		
	健康プログラム(全エリア)	ノルディック・ウォーキング、里山散策、紅葉散策など		
	農体験、調理体験、食体験(西園、薬師池、ぼたん園)	野菜づくり、収穫野菜の調理体験、四季折々の食体験、そば打ち体験、ひまわりの種の収穫、座禅体験など		
	アウトドアプログラム(西園・北園)	グランピング、ナイトピクニックシネマなど		
	農園・里山ボランティア(全エリア)	雑木林の育成や自然観察会など		
	切花・ハボタン販売(ダリア園)			
	緑豊かなまちづくり(全エリア)	ガーデニング、緑化活動など		

● 冬の資源とアクティビティ



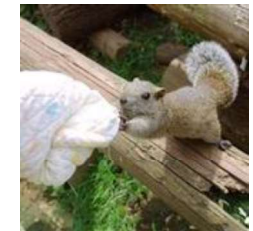
時間ごとの体験	利用者像	利用目的
8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 西園 薬師池 リス園 冬野菜の収穫体験後、育苗センターでお家で育てられる野菜の苗を購入。 地域産の冬野菜を使ったシチューを堪能。椿園を鑑賞。 子どもがお気に入りのリス園に。えさやり体験後、カフェで休憩。	Dさんファミリー 父母（20代） 幼児1人（3歳） 横浜市に在住	年に数回、リス園に訪れる。 今回は冬野菜の収穫体験もWebサイトにて事前申込済み。



収穫体験



地域産冬野菜を使ったメニュー



えさやり体験

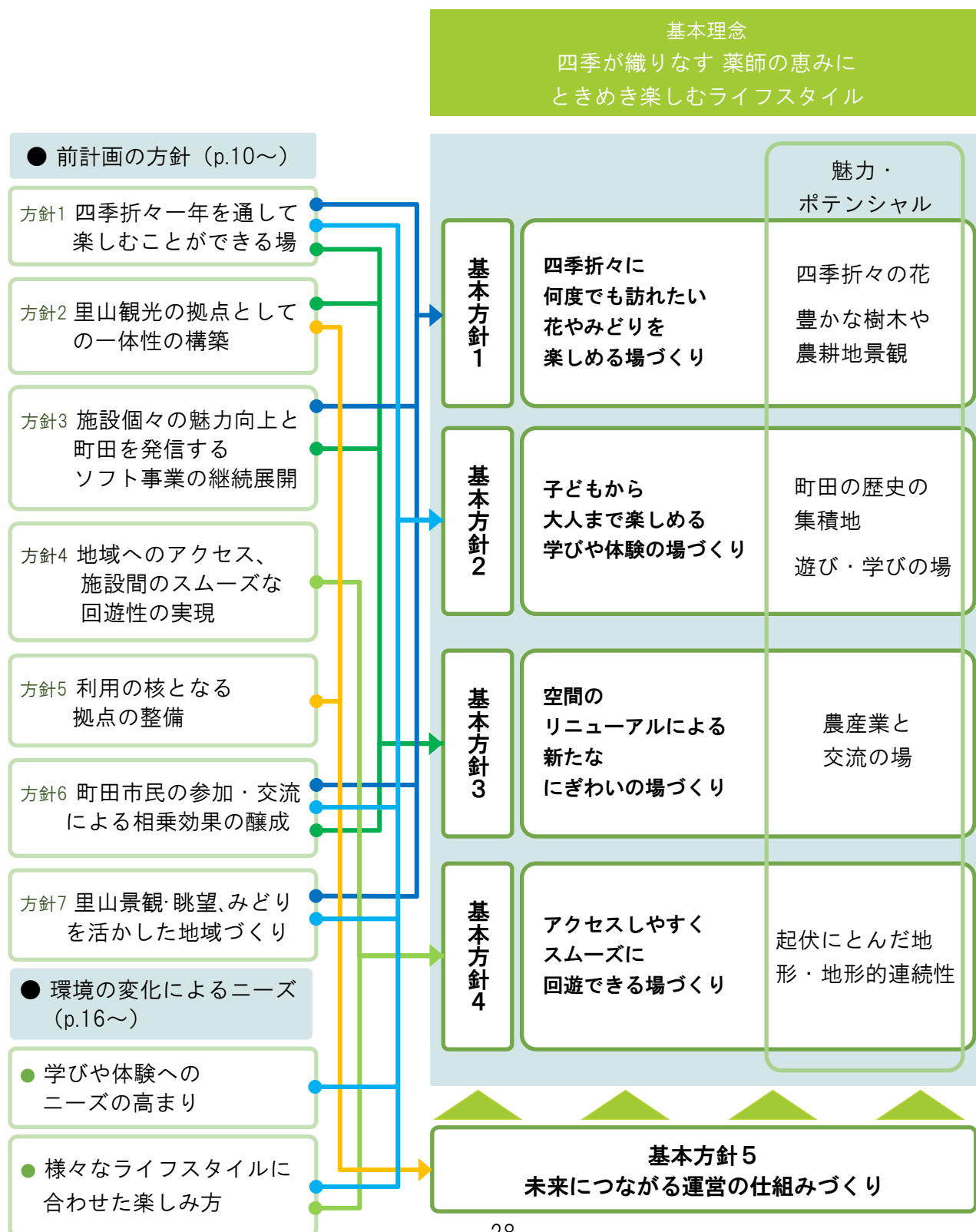
体験カレンダー		12月 歳の市	1月 正月	2月 節分
催事	キャンドルナイト（西園）			
	松の雪つり（薬師池）			
	梅まつり（薬師池）			
学び	やくしの学び（西園から薬師池、北園、七国山ヘフィールドを拡大していく）	カルチャー・ワークショップ・プログラム、里山ガイドウォーク、ガーデニング教室、野菜づくり教室、草木染、花摘み、草花や歴史文化の勉強会など		
	小動物とのふれあい（リス園）	うさぎさんのお庭、巣箱づくりなど		
	菜種油しぼり（ふるさと農具館）	実演と販売		
	写真展示（フォトサロン）	ツバキ展など		
	やくしLOCALファーマーズマーケット（西園）	地場産品の販売促進（クリスマスマーケットなど）		
ライフスタイル	健康プログラム（全エリア）	ノルディック・ウォーキング、里山散策、椿園ガイドツアーなど		
	農体験、調理体験、食体験（西園、薬師池、ぼたん園）	野菜づくり、収穫野菜の調理体験、四季折々の食体験、根菜収穫体験、収穫物による防災キャンパイベントなど		
	農園・里山ボランティア（全エリア）	雑木林の育成や自然観察会など		
	切花・ハボタン販売（ダリア園）			
	緑豊かなまちづくり（全エリア）	ガーデニング、緑化活動など		

4 基本方針

(1) 基本方針

本計画では基本理念を実現するために、前計画の方針ごとの成果、環境変化によるニーズを踏まえ、四季彩の杜の魅力・ポテンシャルを最大限発揮した「来訪者が楽しむ場」と「楽しさを支える仕組み」づくりに係る5つの基本方針を設定します。

基本方針1から4については、来訪者が楽しむ場に関する方針として、基本方針5については、楽しさを支える仕組みに関する方針として展開を図ります。



(2) 基本方針に対応する取組

5つの基本方針を実現するための重点的な取組を示します。重点的な取組は、新たに実施していく「新規取組」及びこれまで実施してきた取組を更に磨き上げる「継続取組」に分けて展開します。また、各基本方針を包括する全体の指標と基本方針ごとの指標を定めます。

基本方針	取組	
基本方針1 四季折々に 何度でも訪れたい 花やみどりを楽しめる場づくり	 花園と回廊の設置  農体験の提供  景観の演出と 園路空間の活用	 景観作物園の拡張と 農ある風景の演出  林床植物の保全  みどりの活用
基本方針2 子どもから大人まで楽しめる 学びや体験の場づくり	 新しい小動物との ふれあいと学習機会の提供  特別な体験空間の提供	 自由民権資料館との連携  学びと体験の提供
基本方針3 空間のリニューアルによる 新たなにぎわいの場づくり	 新たなにぎわいと 心地良い空間の提供  展望施設の設置  休憩所の充実	 観光スポットの リニューアル  ウェルカムゲート 機能の充実
基本方針4 アクセスしやすく スムーズに回遊できる場づくり	 多様なモビリティの導入  ハイ・シーズンの 臨時駐車場の確保  公共交通機関の利用推進  エリア内サインの 追加設置と統一化	 フットパスコースの提供  駐車場収容力の向上と 円滑な案内誘導の実施  交通誘導サインの設置
基本方針5 未来につながる 運営の仕組みづくり	 包括的なエリア管理  ブランディング戦略の展開	 情報の一元的な 収集・共有・発信  みどりの適正な保全

凡例：  新規取組  継続取組

○ エリア全体の指標

指標	現状値	目標値
「町田薬師池公園四季彩の杜」の年間来園者数 (エリア全体の延べ人数)	131万人 (2022年度)	200万人

① 基本方針 1

新規
取組



継続
取組



四季折々に 何度でも訪れたい 花やみどりを楽しめる場づくり

四季折々に表情を変える四季彩の杜特有の景観を多くの世代に接してもらえるように、風景、風情を感じられる草花等を配し、来訪により感動を得られる施設や眺望を楽しめる場所を設けます。四季彩の杜に行けば、いつもどこかで四季が感じられ、何度訪れても楽しめるエリアにします。

●新規取組



花園と回廊の設置

- ・季節により様々な表情をみせる花園を整備し、草花やみどりで彩られた回廊と施設間をつなぐ連節点を設け、移動も楽しめるようにします。



花ショウブ



回廊イメージ



景観作物園の拡張と 農ある風景の演出

- ・地域の方の協力を得ながら景観作物やみどりで彩られる農園を拡張し、季節ごとに「町田ならではの」景観を提供し、その季節に毎年訪れたい場所にします。



菜の花



ひまわり



コスモス



そばの花

●継続取組



農体験の提供

- ・施設運営者や地域の方と連携しながら来訪した方に農業に触れる機会を提供し、自然や農業の楽しさを伝えていきます。



農園



林床植物の保全

- ・希少な山野草などの林床植物の生育環境を保全します。また、地形を活かした樹林空間の活用方法について検討します。



えびね



景観の演出と園路空間の活用

- ・民権の森を散策し、ぼたんやシャクヤクを楽しむための庭園を演出していきます。
- ・色鮮やかなダリアを主体とした花々の景観演出と誰でも歩きやすい園路空間を提供します。



クリンソウ



みどりの活用

- ・利用しやすく明るい雑木林を保全するとともに、東京都と連携し散策路の利用を促します。



庭園

●指標

指標	現状値	目標値
年2回以上来園している方の割合 (来園者アンケートの結果)	54% (2022年度)	70%
閑散期のエリア全体来園者数(延べ人数) (夏季:7月から9月、冬季:12月から2月)	夏季:20万人 冬季:27万人 (2022年度)	夏季:30万人 冬季:35万人

② 基本方針 2

新規
取組



継続
取組



子どもから大人まで楽しめる 学びや体験の場づくり

地域住民や来訪者が集い、自然、歴史、文化など、四季彩の杜「ならでは」の学びや体験を通して、新たな発見や自分の気づきにつながる事業を展開します。そして、子どもから大人まで全年代に渡る「遊び」「喜び」「癒し」「休息」「特別感」等の幅広いスタイルに適應したエリアにします。

●新規取組



新しい小動物との ふれあいと学習機会の提供

- ・小動物の種類を増やし、ふれあいを通じ、生命のあたたかさや優しい気持ちを育む体験と学習の機会を提供します。



ふれあい体験



自由民権資料館との連携

- ・自由民権資料館との連携により、町田の歴史を学ぶ機会を提供します。



自由民権資料館



特別な体験空間の提供

- ・自然の美しさや豊かさを感じながら、都会の喧騒を忘れられる特別な体験空間を提供します。



自然の中でキャンプを楽しむ



落ち葉プール

●継続取組



学びと体験の提供

- ・ワークショップや冒険プログラム、バーベキュー体験を通して子どもから大人まで幅広い年代がチャレンジできる場を提供します。
- ・ダリアの学習コーナーや体験イベントを通して、花々に愛着を感じられる事業を展開します。
- ・写真の展示会や撮影技術の講習会を通して、写真愛好家の集う場を提供します。



ギャラリートークの様子

●指標

指標	現状値	目標値
参加したイベントに対する満足度（最高評価）割合 （各イベント開催時のアンケート結果）	67% （2022春フェア）	80%
イベントの開催数	616回	800回
イベント参加者数	370,595人	500,000人

コラム

自由民権運動に奔走した石阪昌孝

ぼたん園は、町田を代表する自由民権家石阪昌孝の屋敷があったところです。文明開化の影響を受けていたのでしょう。明治11年に石阪邸を訪ねた人の日記には、庭が芝生の西洋風庭園で、屋敷には紅の絨毯が敷かれていたとあります。

明治18年に石阪邸を訪ねた北村透谷は、この時長女美那と出会います。自由民権運動の影響を受けた若者たちの青春群像と大恋愛の物語として語られる2人の出会いも、この地でした。

自由や権利の獲得のために奔走した石阪は、晩年には財産の大半を失って、この地にあった屋敷も借金返済のために人手に渡ることになりました。まさに「井戸堀政治家」の典型のような生き方といえます。

ぼたん園下の畑の中央を走る農道から、ぼたん園内を通り、まっすぐ小高い丘のほうに向かう道があります。その丘の上に建っているのが石阪昌孝の墓です。

「野津田の自慢は何だんべえ 石阪昌孝あったこと」と地元野津田に残る歌に象徴されるように、野津田の人々に愛された石阪昌孝は、一族の墓地とは別に自分の屋敷地を見下ろす位置に墓が建てられ、長い一本道は墓への参道として整備されたものと思われます。

長男はアメリカに永住し、娘2人は他家に嫁いだため、墓守は野津田青年会「凌霜会」から野津田町内会へ引き継がれ、今でも地元の人々の手で行われています。



石阪 昌孝

③ 基本方針 3

新規
取組



継続
取組



空間のリニューアルによる 新たなにぎわいの場づくり

美味しい食事やお酒、スイーツを堪能する場の提供、町田市名産品や新鮮な町田産農産物の販売、野外体験等、市内事業者に支えられ、共に発展する参加・交流型エリアにします。

また、新たなにぎわいを創出するために、民間活力の活用についても検討を行います。

●新規取組



新たなにぎわいと 心地良い空間の提供

- ・庭園の風情を感じながら、ゆっくりと休める飲食施設を設置し、新たなにぎわいと心地の良い空間を提供します。



飲食施設イメージ

(斑尾高原HP)



観光スポットのリニューアル

- ・町田市を代表する観光スポットを、より魅力的な施設にリニューアルするとともに隣接地との連絡路を設け、さらなるにぎわいと相互利用による利便性の向上を実現します。



「リス放し飼い広場」



展望施設の設置

- ・丘陵の頂上部（緑地保全地域区域外）に遠方まで見晴らせる展望台を設置し、散策者がいつも訪れたい場所とします。

●継続取組



ウェルカムゲート機能の充実

- ・エリアの情報を一括で得られる拠点としてコンシェルジュサービスをはじめとするウェルカムゲート機能の充実させます。



ウェルカムゲート



直売所



休憩所の充実

- ・散策者や来訪者にとって、ホッとできる憩いの空間となる休憩所を充実させます。



休憩所



東屋

●指標

指標	現状値	目標値
施設利用に対する満足度（最高評価）割合 （アンケート結果）	（72%）※	80%
イベントの連携事業者数	177社	300社

※（2022春フェア）

④ 基本方針 4

新規
取組



継続
取組



アクセスしやすく スムーズに回遊できる場づくり

エリアへのアクセスと、施設間の移動を改善するために、動線整備と誘導の仕組みを検討し、行きやすく・巡りやすく、利用することが楽しいエリアにします。

また、交通渋滞の緩和に向け、公共交通機関の利用を促す仕組みづくりを進めます。

●新規取組



多様なモビリティの導入

- ・事業者と連携しながら施設間、施設内の回遊性向上や各駐車場の利便性向上のため、環境にやさしいモビリティの導入を行います。



園内モビリティの試行導入



シェアサイクル



グリーンスローモビリティ



フットパスコースの提供

- ・四季彩の杜を巡る四季ごとの多様なニーズに対応した新しいフットパスコースを提供します。また、モビリティの活用と連動したウォーキングコースも提案します。



まちだフットパスガイドマップ



ハイ・シーズンの臨時駐車場の確保

- ・ ゴールデンウィークや紅葉の季節など、特定の混雑時期に臨時駐車場を設けます。
また、駐車場の混雑状況や渋滞情報を臨時案内板により、エリア進入前に周知するとともに、SNSを利用したりリアルタイムでの情報提供と有人による臨時駐車場への誘導を行います。
(次ページトピック参照)



駐車場収容力の向上と円滑な案内誘導の実施

- ・ 来訪者増加への対応や交通渋滞の緩和に向け、既存駐車場の収容台数を増やします。また、交通情報の事前周知や入庫待ちの動線案内を行います。(次ページトピック参照)

● 継続取組



公共交通機関の利用推進

- ・ 交通管理者と連携しながら、町田駅や鶴川駅などの乗り場案内を拡充し、公共交通機関の利用を推進します。



交通誘導サインの設置

- ・ 道路管理者や交通管理者と連携しながら、車での利用者への案内誘導のため、わかりやすい交通サインを設置します。
(次ページトピック参照)



交通誘導サイン



エリア内サインの追加設置と統一化

- ・ 巡ることが楽しく、わかりやすい施設間サインの追加設置と統一化を行います。



エリア内サイン

● 指標

指標	現状値	目標値
2つ以上の施設を利用した方の割合 (来園者アンケートの結果)	78% (2022年度)	90%
駐車場台数(自動車、大型バス)	502台	714台
公共交通機関利用率	20%	30%

トピック ハイ・シーズンの車利用について

春や秋のイベント開催時などハイ・シーズンは、一部駐車場が満車になるなど、混雑します。また、鎌倉街道にも渋滞が発生し、エリアへのアクセスに問題が生じています。

ドライバーが快適にエリアにアクセスするために、下記を踏まえた解決策の検討が必要です。

1 来訪者の多くが自家用車を利用。

春フェアアンケートでは、自家用車・バイクで来訪している人の割合は55%であり、公共交通機関の利用率は19%と低い状況でした。



※バス・鉄道利用者の合計

(基本方針 4 の取組と対応)



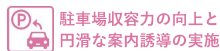
2 イベント開催時も同一時刻に全駐車場が満車になっていない。

2022年度の駐車場利用状況では、7つの駐車場が同時に満車になった日・時間帯はありません。イベント開催日など、特定日の駐車場利用に偏りがあるため、一部の駐車場で満車になっています。



ハイ・シーズンで最も駐車台数の多かった2022年5月5日の時間帯別の状況

(基本方針 4 の取組と対応)



3 鎌倉街道渋滞の原因の一つは、右折車両。

鎌倉街道は、今井谷戸交差点から薬師ヶ丘交差点先まで片側1車線が続きます。交差点で右折する車両が多いことも渋滞の原因となっています。

次ページに主に渋滞が発生している区間と右折が多い交差点、交通誘導サインの設置状況を示しています。

(基本方針 4 の取組と対応)



⑤ 基本方針 5

新規
取組



継続
取組



未来につながる運営の仕組みづくり

エリア内にある複数の施設を一体で管理することによって、施設間の連携をさらに円滑にし、効率的で質の高いエリア運営につなげます。

また、統一感のあるプロモーションによるブランディング戦略を展開します。

さらに、雑木林をはじめとする、四季彩の杜「ならではの」の森林景観を持続的に保全していくために適切な森林管理を行います。

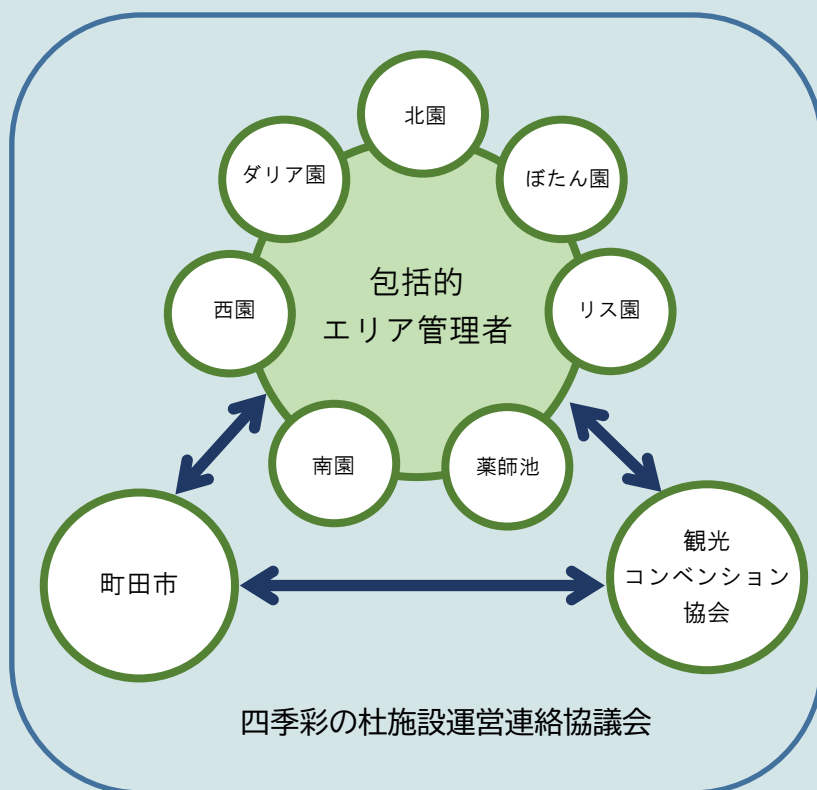
●新規取組



包括的なエリア管理

- ・四季彩の杜全体を一つの事業者が一体的に管理することにより、施設間の連携をシームレスにし、サービスの充実を図ります。

四季彩の杜包括的エリア管理者を中心とした連携イメージ

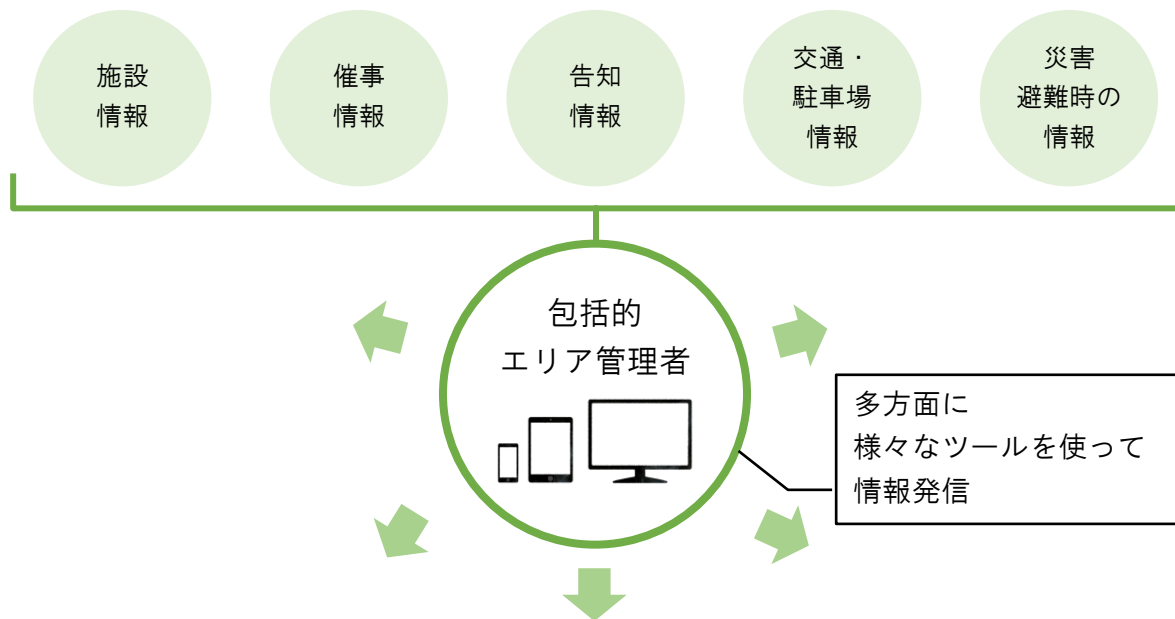


矢印は支援・要請など



情報の一元的な収集・共有・発信

- ・全施設の催事情報や告知情報、交通・駐車場情報、災害避難時の情報などを四季彩の杜包括的エリア管理者に集約し、デジタル技術を活用し、その情報を一体的に発信します。その際には、継続的で効果的な情報発信を行うため、専門事業者との連携も行います。



●継続取組



ブランディング戦略の展開

- ・四季彩の杜の認知度向上のために、広報媒体や物販などにブランドロゴを掲載し、統一感のあるプロモーションを行います。また、四季彩の杜関係者は、連携を深めるとともに、ブランド・アイデンティティの実現につながる空間づくりを行います。



町田薬師池公園
四季彩の杜
Shikisai no Mori



みどりの適正な保全

- ・みどり豊かな景観を将来世代に引き継ぐために、市と地域で協力しながら樹木の間伐と育成を両立させます。

●指標

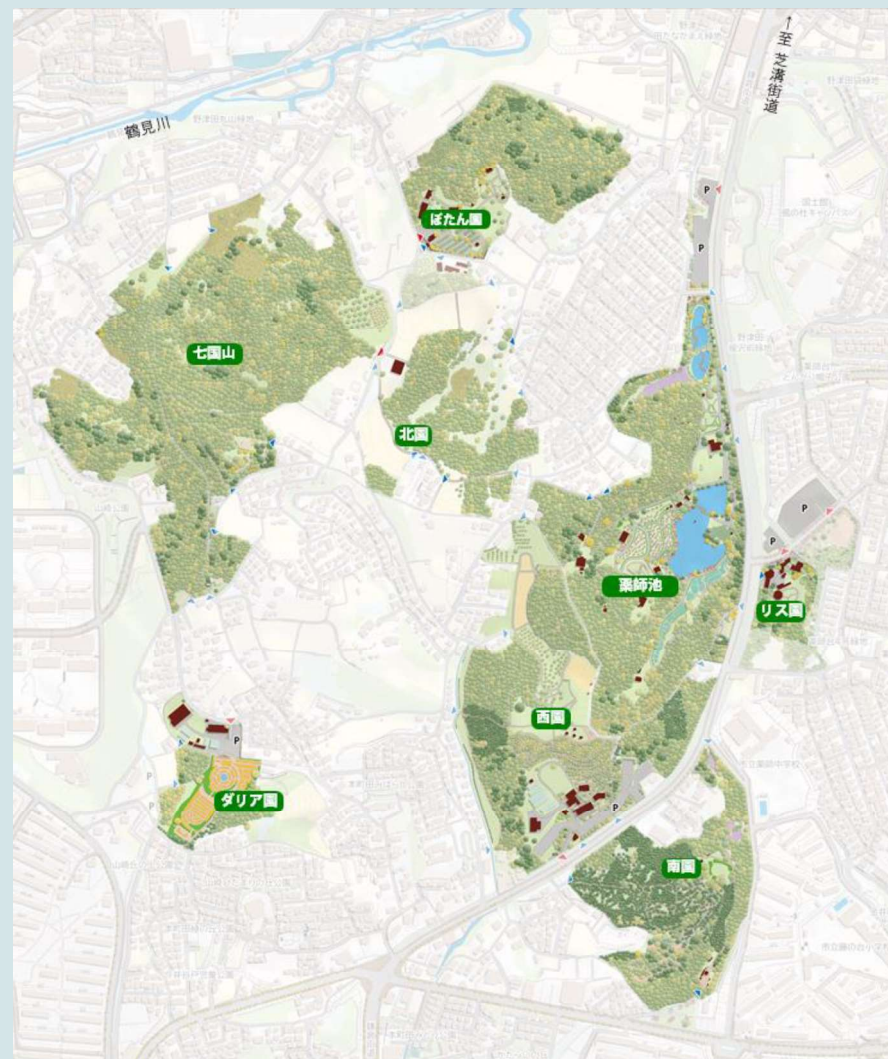
指標	現状値	目標値
「四季彩の杜」名称の認知度 (来園者アンケートの結果)	52%	80%
「四季彩の杜」ポータルサイトのアクセス数 (年間の集計値)	272,287回 (2022年度)	500,000回
施設間で連携したイベント数	21回	50回

(3) 基本方針の取組を展開する施設

基本方針の新規取組（ピンクのアイコン）と継続取組（水色のアイコン）を施設ごとに表示します。

● 10年間の取組

全 体	 多様なモビリティの導入	 フットパスコースの提供
	 ハイ・シーズンの臨時駐車場の確保	 駐車場収容力の向上と円滑な案内誘導の実施
	 包括的なエリア管理	 情報の一元的な収集・共有・発信
	 展望施設の設置	 公共交通機関の利用推進
	 交通誘導サインの設置	 エリア内サインの追加設置と統一化
	 ブランディング戦略の展開	 みどりの適正な保全
薬師池	 花園と回廊の設置	 新たなにぎわいと心地良い空間の提供
	 学びと体験の提供	
西園	 農体験の提供	 学びと体験の提供
	 ウェルカムゲート機能の充実	
リス園	 新しい小動物とのふれあいと学習機会の提供	 観光スポットのリニューアル
ぼたん園	 自由民権資料館との連携	 景観の演出と園路空間の活用
北園	 景観作物園の拡張と農ある風景の演出	 特別な体験空間の提供
七国山	 みどりの活用	
ダリア園	 景観の演出と園路空間の活用	 学びと体験の提供
	 休憩所の充実	
南園	 林床植物の保全	



(4) 取組の工程表

2023年度から2032年度までの取組を以下に示します。

		2023年度～	2025年度～	2027年度～	2029年度～	2031年度～
① 養師池	花園と回廊の設置(P30)		都市計画決定			
	新たなにぎわいと心地良い空間の提供(P34)		計画策定・設計	工事		
② 西園	農体験の提供(P31)	●継続				
	学びと体験の提供(P33)	●継続				
	ウェルカムゲート機能の充実(P35)	●継続				
③ リス園	新しい小動物とのふれあいと学習機会の提供(P32)		準備・検討			●開始
	観光スポットのリニューアル(P34)	計画策定		設計	工事	
④ ぼたん園	自由民権資料館との連携(P32)	●開始				
	景観の演出と園路空間の活用(P31)	●継続				
⑤ 北園	景観作物園の拡張と農ある風景の演出(P30)	計画策定	設計	工事	●開始	
	特別な体験空間の提供(P32)	計画策定	設計	工事	●開始	
⑥ 七国山	みどりの活用(P31)	●継続				
⑦ ダリア園	景観の演出と園路空間の活用(P30)	●継続				
	学びと体験の提供(P32)	●継続				
	休憩所の充実(P35)	●継続				
⑧ 南園		都市計画決定				
	林床植物の保全(P31)	準備・検討	用地取得・生育環境の保全			

		2023年度～	2025年度～	2027年度～	2029年度～	2031年度～
⑨ 全体	多様なモビリティの導入(P36)	●開始				
	フットパスコースの提供(P36)	準備・検討 ●開始				
	ハイ・シーズンの臨時駐車場の確保(P37)	●開始				
	駐車場収容力の向上と円滑な案内誘導の実施(P37)	規模・候補地の検討 設計・工事 ●増設駐車場利用開始				
	包括的なエリア管理(P40)	準備・検討 ●開始（エリアは段階的に拡大）				
	情報の一元的な収集・共有・発信(P41)	準備・検討 ●開始				
	展望施設の設置(P34)	計画策定・設計 工事				
	公共交通機関の利用推進(P37)	●継続				
	交通誘導サインの設置(P37)	準備・検討 計画策定 ●開始				
	エリア内サインの追加設置と統一化(P37)	準備・検討 計画策定 ●開始				
	ブランディング戦略の展開(P41)	●継続				
	みどりの適正な保全(P41)	●継続				

5 未来への継承

本計画は2023年度からの10年を対象としています。基本理念及び基本方針を未来へ継承するために、2033年度以降の未来に展開する取組についても次のとおり示します。

地形や景観を活かした遊び場の整備

四季彩の杜の魅力の1つである起伏のとんだ地形や樹林景観を継続して保全するとともに、既存の景観の中で、多様な世代が楽しめる遊び場をつくります。その際には、隣接地とのアクセス連携を含めた整備を検討します。（南園）

歴史文化資産の復元や活用

エリアには民権の森緑地保全地域の石坂昌孝の墓や鎌倉古道など歴史的価値の残る場所が数多く存在します。これらを周知し、継承するために歴史文化資産の復元や活用などを含めた事業展開を進めます。（ぼたん園）

隣接地域との連携

四季彩の杜の隣接地域には、大規模な藤の台団地、町田山崎団地が存在します。これらの管理者と連携し、ともに発展するエリアにしていきます。（エリア全体）



四季が織りなす 薬師の恵みに

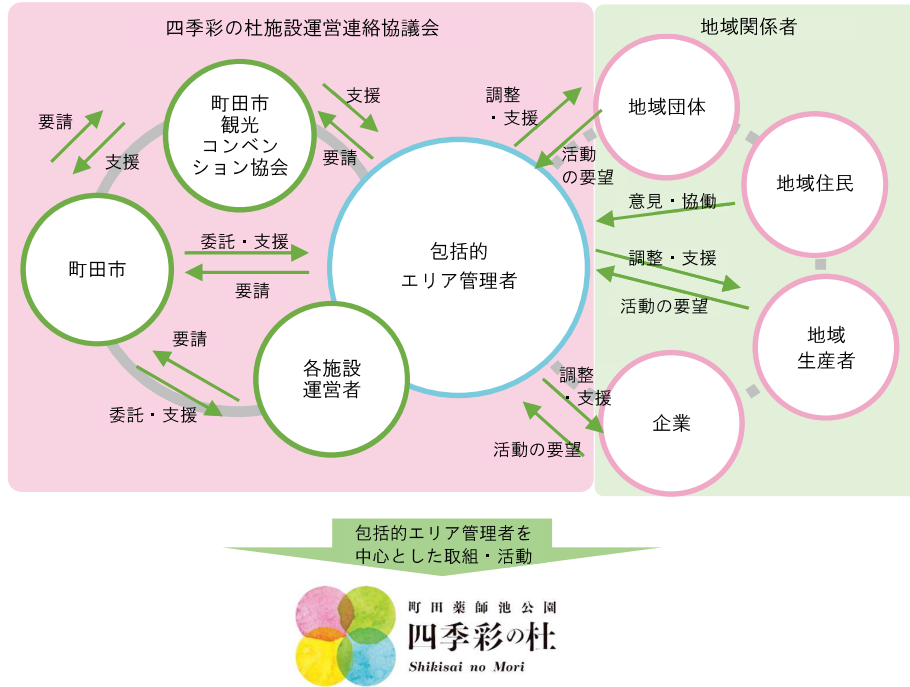
ときめき楽しむライフスタイルを

次世代へ



6 計画の推進体制

本計画の推進は、町田市が全体を取りまとめながら、各関係主体の協力のもと、着実に推進していきます。以下に各関係主体の役割を記載します。



四季彩の杜施設運営連絡協議会

- ・本計画の進捗状況の確認を行います。
- ・各施設の情報の共有や施設間で連携したイベントの開催に向けた調整を行います。
- ・要望や意見の共有を行い、エリア全体で改善に向けた取組を行います。

包括的エリア管理者

- ・四季彩の杜施設運営連絡協議会の事務局を運営します。
- ・総合案内所の運営を行い、来訪者等からの要望や意見を取りまとめます。
- ・四季彩の杜の関係者とのネットワーク構築や連携調整、また、施設間の連携イベントを実施します。

町田市観光コンベンション協会

- ・観光振興の専門家として、包括的エリア管理者や各施設と互いに連携し、支援します。
- ・全体イベントの実施や各施設に事業提案や支援を行います。

町田市

- ・各関係主体との連携のもと、本計画の示す方向に沿って、目標や取組を推進します。
- ・取組の進捗状況を確認・評価し、必要に応じて見直し・改善を行い、計画の適切な進捗管理を行います。
- ・年度ごとに四季彩の杜施設運営連絡協議会において、進捗状況の確認を行い、取組を見直すなどPDCAサイクルを実行し、着実に計画を推進していきます。

観光まちづくり課の役割

- ・本計画の進捗管理を行います。
- ・エリアのブランディングとPRを行います。
- ・エリア内へ誘客のためのイベントを実施します。
- ・サイン計画（エリア内・交通誘導）を作成します。

公園緑地課の役割

- ・公園の整備とサインの設置を行います。
- ・包括的なエリア管理体制を構築し、魅力的な施設の運営を行います。
- ・みどりを適正に維持管理します。

障がい福祉課の役割

- ・障がいのある方の活動の場の確保を行います。

農業振興課の役割

- ・エリア内での農業に関する支援を行います。

文化振興課の役割

- ・文化施設の振興や運営を行います。

生涯学習総務課の役割

- ・四季彩の杜の歴史資源を活用した、町田の歴史を学ぶ機会を提供します。

交通事業推進課の役割

- ・エリアへのアクセスについて公共交通機関の利用を推進します。

地域関係者

地域住民

- ・町田市や包括的エリア管理者と協働し、地域への愛着や誇りが醸成される住みやすいエリアにします。
- ・エリアに関する要望や意見を包括的エリア管理者に提供し、運営者の改善につなげます。

地域団体

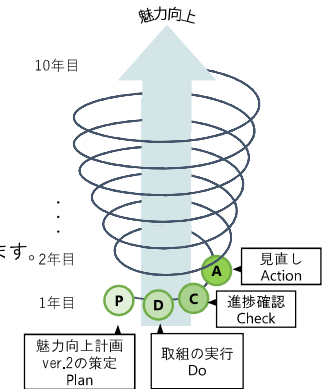
- ・みどりの保全活動（公益的活動団体等）など公園の管理運営の支援を行います。
- ・イベントの実施や、要望や意見を包括的エリア管理者に対して提供します。

地域生産者等

- ・地域で生産した農作物等をエリア内での消費につながる取組を行います。

企業

- ・イベントの開催や協賛をおこないます。また、様々な媒体を利用した情報発信を行います。



(1) アンケート結果

■目的

アンケート調査により、四季彩の杜エリアを訪れる施設利用者に対し、利用者ニーズ（求める機能や設備や草花へのかかわり方）とともに利用状況、エリアの知名度を把握します。一方、四季彩の杜エリアを訪れたことのない人に対しては、認知度の把握とともにターゲットの利用者ニーズや訪問の動機付けとなるようなコンテンツ（楽しみ方やイベント）につながる意見を抽出します。それぞれの意見を踏まえ、計画の基本方針や取組等の検討に反映します。

① 施設利用者

■施設利用者アンケート概要

現地／WEB・施設利用者アンケート概要

	現地	WEB
調査期間	2022年7月9日(土)～ 7月18日(月・祝)（10日間）	2022年7月11日(月)～ 7月15日(金)（5日間）
調査対象	四季彩の杜エリアの施設利用者	WEB調査会社の登録モニター（四季彩の杜を利用したことがある方）
調査地点	● 薬師池 ● 西園 ● リス園 ● ダリア園 ● 七国山ファーマーズセンター ● ふるさと農具館 ● ぼたん園 ● 七国山緑地保全地域	
調査方法	・ 7月9日は調査員を調査地点に配置し、利用者へ聞き取りやアンケートの回答を促した。 ・ それ以外の期間は、施設への回答QRコードの掲示や施設係員の案内により施設利用者に回答を求めた。	・ WEBアンケート会社から登録モニターへアンケートを配信
回答数	344	532

【回答者属性】

Q 1. お住まい

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合
1町田市	13	105	16	6	6	1	1	2	121	271	30.9%
2相模原市	1	26	5	3	2				103	140	16.0%
3横浜市	6	11	7	4	2				172	202	23.1%
4川崎市		10	4	1	2				81	98	11.2%
5八王子市		5		1					46	52	5.9%
6多摩市	3	12	1					1	2	19	2.2%
7稲城市		2	2	2					7	13	1.5%
8その他	11	31	19	16	4					81	9.2%
合計	34	202	54	33	16	1	1	3	532	876	100%

Q 2. 性別

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合
1男性	14	64	26	13	8			2	257	384	43.8%
2女性	20	133	26	20	7	1	1	1	275	484	55.3%
不明		5	2		1					8	0.9%
合計	34	202	54	33	16	1	1	3	532	876	100%

Q 3. 年齢

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合
～19歳		28	2						12	42	4.8%
20～29歳		10	4	1					89	104	11.9%
30～39歳	3	19	18						102	142	16.2%
40～49歳	5	35	19	4					103	166	18.9%
50～59歳	6	48	5	10	3			1	103	176	20.1%
60～69歳	5	23	6	9	6		1	1	103	154	17.6%
70歳以上	15	36		9	7	1		1	20	69	7.9%
不明		3								3	2.6%
合計	34	202	54	33	16	1	1	3	532	876	100%

【今回の来訪について】

Q 4. この場所への訪問頻度はどの程度ですか？

現地の回答としては「ほぼ毎日」、「週に1回以上」、「月に1回以上」と回答した方が多くいた。

年2回以上訪問のあるリピーターは54%だった。

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合
1ほぼ毎日	4	4	2		3			1	10	24	2.7%
2週に1回以上	13	65	20	11	1				12	122	13.9%
3月に1回以上	8	48	22	14	9				34	135	15.4%
4年に数回	5	66	2		1			1	113	188	21.5%
5年に1回以下	2	16	1		2	1	1	1	181	205	23.4%
6はじめて訪問した	2	3	7	8					182	202	23.1%
合計	34	202	54	33	16	1	1	3	532	876	100%

Q 5. どなたといらっしゃいましたか？

「家族（大人のみ）」、「家族（子どもと一緒に）」と回答した方が全体の約6割だった。リス園は特に、子どもと一緒に訪れる方が多かった。

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合
1一人	8	46	5	4	2		1	2	62	130	14.8%
2友人・知人	3	27	5	8	4				88	135	15.4%
3カップル	2	8	4	6	1				54	75	8.6%
4家族（大人のみ）	16	55	3	13	7	1		1	128	224	25.6%
5家族（子供と一緒に）	4	45	34	1					177	261	29.8%
6団体で（学校、職場等）	1	9							11	21	2.4%
7その他		3		1	2				0	6	0.7%
不明		9	3						12	24	2.7%
合計	34	202	54	33	16	1	1	3	532	876	100%

【施設を利用した感想について】

Q 6. この場所や周辺にあるとよい、あるいはもっと充実してほしい設備や機能はありますか？
(複数回答)

全体では、「屋内の休めるところ（カフェ等）」や「食事ができるところ（レストラン等）」、「屋外の休めるところ（ベンチ等）」の割合が高かった。西園やリス園では、「自然を生かしたアトラクション（フォレストアドベンチャー等）」、ダリア園では、「写真撮影スポット」の要望も多い傾向であった。

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合※
1屋外の休めるところ（ベンチ等）	12	72	11	13	8				235	351	40.1%
2屋内の休めるところ（カフェ等）	9	97	26	11	4		1	1	245	394	45.0%
3食事ができるところ（レストラン等）	10	71	22	8	6			1	218	336	38.4%
4お土産や地場産品を購入できる場所	3	48	8	7	5				139	210	24.0%
5自然を生かしたアトラクション（フォレストアドベンチャー等）	2	74	19	2	3			1	96	197	22.5%
6子供を中心とした遊具や遊び場	1	46	15	1	2		1		111	177	20.2%
7写真撮影スポット		26	4	12	1	1			80	124	14.2%
8ピクニック・バーベキューができる場所		43	12		3		1	1	63	123	14.0%
9移動手段の確保（電動キックボード、小型バス等）	3	24	2	4	1				34	68	7.8%
10その他	9	18	5	3	2				23	60	6.8%

※回答者876人に対する割合

Q 7. この場所や周辺でどのようなイベントを求めますか？（複数回答）

全体では、「ファーマーズマーケット（地場製品の販売会等）」、「小動物とのふれあいイベント」、「草花の自然観察会」の割合が高かった。「小動物とのふれあいイベント」は西園、リス園利用者の回答が多く、「草花の自然観察会」は薬師池公園、ダリア園、ぼたん園利用者の回答として多い傾向であった。

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合※
1野鳥や草花の写真撮影会	11	45	3	13	3	1		1	101	178	20.3%
2草花の自然観察会	14	62	2	16	10	1		2	155	262	29.9%
3小動物とのふれあいイベント	1	71	44		1		1		253	371	42.4%
4農作物の収穫イベント	1	72	19	5	3		1		142	243	27.7%
5ファーマーズマーケット（地場製品の販売会等）	13	92	19	16	6				232	378	43.2%
6乗り物の体験会（電動キックボード等）	2	35	7	2	1		1		76	124	14.2%
7その他		9	1						19	29	3.3%

※回答者876人に対する割合

Q 8. 町田薬師池公園四季彩の杜という名称を以前からご存じでしたか？

「以前から知っていた」と回答した方が全体の約5割である一方で、それ以外の方は名称を「このアンケートで知った」と回答している。

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合
1以前から知っていた	20	152	23	28	11		1	3	219	457	52.2%
2このアンケートで知った	14	45	29	5	4				313	410	46.8%
不明		5	2		1	1				9	1.0%
合計	34	202	54	33	16	1	1	3	532	876	100%

Q 9. 四季彩の杜は、四季折々の草花が楽しめる公園です。草花にどのような楽しみ方を求めますか？（複数回答）

（現地利用者のみ実施）

全体では、「草花を鑑賞したい」、「草花を撮影したい」、「草花や地場産品の商品を使いたい、食べたい」の割合が高かった。

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合※
1草花を鑑賞したい	27	120	29	27	13	1		2		219	63.7%
2草花を撮影したい	13	64	16	17	4			2		116	33.7%
3観察や案内を通して学びを深めたい	4	48	10	4	5		1	1		73	21.2%
4農業体験をしたい	3	46	13		1					63	18.3%
5購入して、家で鑑賞や育てたい	2	49	5	7	2		1			66	19.2%
6草花や地場産品の商品を使いたい、食べたい	3	58	16	7	5					89	25.9%
7草花や地場産品でものを作りたい		29	6		1					36	10.5%
8草花や地場産品で料理をしたい	1	46	9	3	3		1			63	18.3%
9その他		1			1					2	0.6%

※回答者344人に対する割合

Q 10. ほかに利用する（した）場所がありますか？（複数回答）

（現地利用者のみ実施）

約6割の方は「薬師池公園」、約5割の方は「リス園」を訪問しており、回答者のうち半数以上は調査地点の施設に加え、もう1施設を利用している状況であった。

回答	1薬師池公園	2西園	3町田リス園	4ダリア園	5ぼたん園	6FC	7ふるさと	8七国山緑地	9WEB利用者	合計	割合※
1薬師池公園		144	24	23	11	1	1	3		220	64.0%
2西園			5	12	8		1	2		106	30.8%
3町田リス園	12	103		7	7		1	2		170	49.4%
4ダリア園	8	70	4		10	1	1	3		113	32.8%
5ぼたん園	10	57	6	12		1	1	3		100	29.1%
6ファーマーズセンター	3	38	1	3	3			3		51	14.8%
7ふるさと農具館	3	22			3	1		1		31	9.0%
8七国山緑地	5	36			7	1				51	14.8%

※回答者344人に対する割合

Q 1 1. その他、お気づきの点があればご記入ください。

(現地利用者のみ実施)

回答を分類すると、現状を維持してほしい等現状に対して評価する意見が多くあったが、バスや駐車場、サイン等への「交通・案内の充実」やベンチ、レストラン等の「休憩施設の設置」への意見も多くあった。

回答分類	合計
現状を評価	26
交通・案内の充実	10
休憩施設等の設置	10
草花等をより充実	5
トイレの設置	4

② 施設未利用者

■施設未利用者アンケート概要

WEB・施設未利用者アンケート概要

調査期間	2022年7月11日(月)～7月15日(金) (5日間)
調査対象	WEB調査会社の登録モニター (四季彩の杜を利用したことがない方)
調査方法	・WEBアンケート会社から登録モニターへアンケートを配信
回 答 数	540

【回答者属性】

Q 1. お住まい

回答	合計	割合
1 町田市	20	3.7%
2 相模原市	37	6.9%
3 横浜市	316	58.5%
4 川崎市	118	21.9%
5 八王子市	37	6.9%
6 多摩市	1	0.2%
7 稲城市	11	1.9%
8 その他	0	0.0%
合計	540	100%

Q 2. 性別

回答	合計	割合
1 男性	269	49.8%
2 女性	270	50.0%
3 その他	1	0.2%
合計	540	100%

Q 3. 年齢

回答	合計	割合
1 ～19歳	20	3.7%
2 20～29歳	100	18.5%
3 30～39歳	100	18.5%
4 40～49歳	100	18.5%
5 50～59歳	100	18.5%
6 60～69歳	100	18.5%
7 70～79歳	20	3.7%
8 80歳以上	0	0.0%
合計	540	100%

※端数処理上、合計は100%にならない。

【公園全般について】

Q 4. 町田薬師池公園四季彩の杜あるいは、以下の施設※いずれかを知っていますか？

回答	合計	割合
1 知っている。行ったことがある。	0	0.0%
2 知っているが、行ったことはない。	119	22.0%
3 知らない。	421	78.0%
合計	540	100%

※薬師池公園、西園、リス園、ダリア園、七国山ファーマーズセンター、ふるさと農具館、ぼたん園、七国山緑地保全地域

Q 5. 公園にはよく行きますか？

「よく行く」と回答した方は9.6%、「たまに行く」と「あまり行かない」と回答した方は93.4%であった。

回答	合計	割合
1 よく行く	52	9.6%
2 たまに行く	208	38.5%
3 あまり行かない	280	51.9%
合計	540	100%

Q 6_1. どのようなことを求めて公園によくいきますか？（Q 5で公園に「よく行く」と回答）
（複数回答）

公園によく行く方は、「四季折々の自然が体験できる」、「子どもが遊具等で遊べる」と回答した方が多かった。

回答	合計	割合※
1 四季折々の自然を体感できる	29	55.8%
2 食事を楽しめる（カフェ、出店等）	8	15.4%
3 綺麗な写真を撮影できる	11	21.2%
4 農業体験ができる	3	5.8%
5 子どもが遊具等で遊べる	20	38.5%
6 自然体験施設がある（動物園、植物園、学習館）	6	11.5%
7 自然の中でアウトドア活動ができる	9	17.3%
8 運動など体を動かせる	14	26.9%
9 祭りやイベントがある	3	5.8%
10 その他	6	11.5%

※回答者52人に対する割合

Q 6_2. どのような公園なら行きたいと思いますか？（Q 5で「たまに行く」「あまり行かない」と回答）（複数回答）

公園に「たまに行く」、「あまり行かない」と回答した方は、「四季折々の自然が体験できる」、「食事が楽しめる」、「運動など体を動かせる」と回答した方が多かった。

回答	合計	割合※
1 四季折々の自然を体感できる	287	58.8%
2 食事を楽しめる（カフェ、出店等）	153	31.4%
3 綺麗な写真を撮影できる	105	21.5%
4 農業体験ができる	18	3.7%
5 子どもが遊具等で遊べる	55	11.3%
6 自然体験施設がある（動物園、植物園、学習館）	93	19.1%
7 自然の中でアウトドア活動ができる	61	12.5%
8 運動など体を動かせる	117	24.0%
9 祭りやイベントがある	109	22.3%
10 その他	20	4.1%

※回答者488人に対する割合

【四季彩の杜について】

Q 7. 四季彩の杜は、四季折々の草花が楽しめる公園です。草花にどのような楽しみ方を求めますか？（複数回答）

「草花を鑑賞したい」が65.7%、「草花を撮影したい」が22.2%と割合が高かった。

回答	合計	割合※
1 草花を鑑賞したい。	355	65.7%
2 草花を撮影したい。	120	22.2%
3 観察や案内を通して学びを深めたい	56	10.4%
4 農業体験をしたい。	45	8.3%
5 購入して、家で鑑賞や育てたい	44	8.1%
6 草花や地産品の商品を使いたい、食べたい	70	13.0%
7 草花や地場産品でものを作りたい	20	3.7%
8 草花や地場産品で料理をしたい	72	13.3%
9 その他	19	3.5%

※回答者540人に対する割合

Q 8. どのようなイベントを求めますか？（複数回答）

「ファーマーズマーケット（地場産品の販売会等）」、「小動物とのふれあいイベント」、「草花の自然観察会」の割合が高かった。

回答	合計	割合※
1 野鳥や草花の写真撮影会	73	13.5%
2 草花を自然観察会	163	30.2%
3 小動物とのふれあいイベント	164	30.4%
4 農作物の収穫イベント	93	17.2%
5 ファーマーズマーケット（地場産品の販売会等）	208	38.5%
6 乗り物の体験会（電動キックボード等）	112	20.7%
7 その他	26	4.8%

※回答者540人に対する割合

Q 9. 町田薬師池公園四季彩の杜という名称をご存じでしたか？

ほとんどの方は名称を「このアンケートで知った」と回答している。

回答	合計	割合
1 以前から知っていた。	16	3.0%
2 このアンケートで知った。	524	97.0%
合計	540	100%

(2) 計画の策定体制及び検討内容

本計画の策定にあたっては、市民等の意見を聴取するため、町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定検討委員会（※１）を設置するとともに、庁内で連携した検討を進めるため、町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定庁内検討会（※２）を設置しました。

また、施設利用者へのアンケート調査や潜在的ニーズを把握するためのWEBアンケート調査、市民意見募集、四季彩の杜関係施設へのヒアリング等を行い、ニーズの把握や意見交換をしながら計画を策定しました。

※１ 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定検討委員会

No	区分	氏 名	所 属 等
1	学識経験者	かわはら すすむ	東京都立大学 都市環境学部観光科学科 教授
		川原 晋	
2		てらだ とおる	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授
		寺田 徹	
3		いしい ひでゆき	武蔵野美術大学 造形学部建築学科 講師
		石井 秀幸	
4	町内会自治会代表	なかむら きよひこ	町田市町内会・自治会連合会の代表
		仲村 清彦	
5		きくやま せいや	町田市町内会・自治会連合会の代表
		菊山 聖哉	
6		こしみず じゅん	町田市町内会・自治会連合会の代表
		越水 淳	
7	代表施設関係団体	そのだ りえ	NEST Machida 統括責任者
		園田 理恵	
8		ひぐち けんじ	リス園 園長
		樋口 健治	
9	分野 観光	さかもと あい	一般社団法人町田市観光コンベンション協会
		坂本 愛	

日 程	主な内容
第1回 2022年8月31日（水）	検討委員会趣旨の説明（目的、スケジュール等） 計画骨子の説明及び意見交換
第2回 2022年12月12日（月）	計画案の説明及び意見交換
第3回 2023年2月8日（水）	計画案修正の説明及び意見交換
第4回 2023年8月 日（ ）	市民意見募集結果の報告及び回答案の説明 計画案修正の説明及び意見交換

※ 2 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定庁内検討会

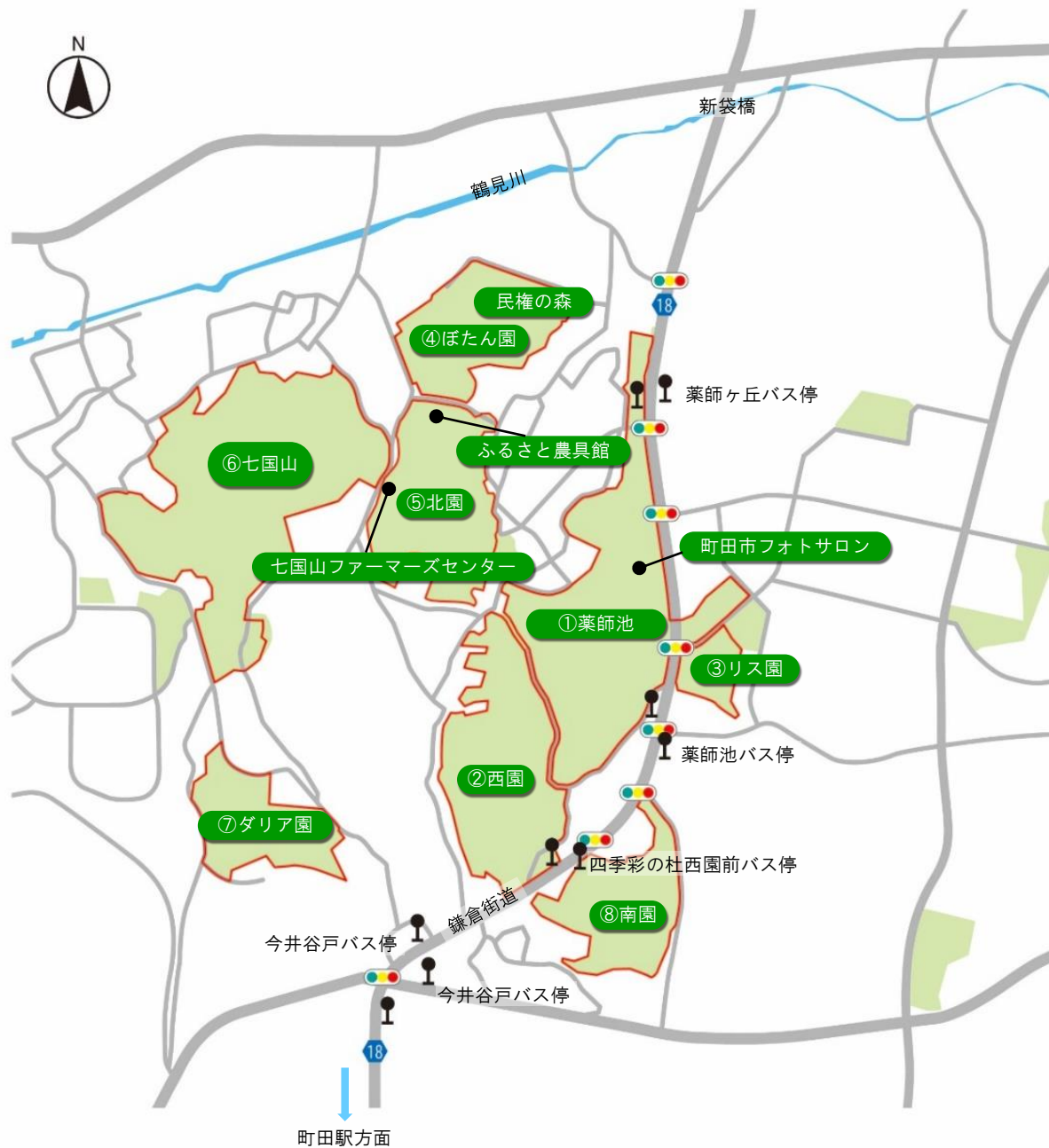
- ・ 政策経営部企画政策課長
- ・ 地域福祉部障がい福祉課長
- ・ 経済観光部農業振興課長
- ・ 都市づくり部交通事業推進課長
- ・ 都市づくり部公園緑地課公園管理担当課長
- ・ 文化スポーツ振興部文化振興課長
- ・ 経済観光部観光まちづくり課長
- ・ 道路部道路政策課長
- ・ 都市づくり部公園緑地課長
- ・ 生涯学習部生涯学習総務課担当課長

日 程	主な内容
第1回 2022年7月1日（金）	検討趣旨の説明（目的、スケジュール等） 計画の構成、ランドデザインの検討
第2回 2022年7月27日（水）	計画骨子案、基本理念、現状と課題の整理、基本方針、その他骨子案全般の検討
第3回 2022年9月29日（木）	経営会議の報告 整備の方向性、計画の構成、四季彩の杜で行う取組の庁内での連携の検討
第4回 2022年10月18日（火）	子ども関連部（子ども生活部・学校教育部） 意見集約結果報告、計画素案（概要）の検討
第5回 2022年12月22日（木）	経営会議及び検討委員会の報告 計画案修正の検討
第6回 2023年2月7日（火）	計画案修正の説明及び意見交換
第7回 2023年4月18日（火）	検討委員会の報告 計画案修正の検討
第8回 2023年7月 日（ ）	市民意見募集結果の報告及び回答案の検討 計画案修正の説明及び意見交換

(3) 施設概要

四季彩の杜の施設概要について示します。

施設位置は下記の通りです。



① 薬師池

薬師池	
概要	1982年に「新東京百景」、1998年には「東京都指定名勝」に指定されています。さらに、2007年に「日本の歴史公園100選」に選定された町田市を代表する公園です。園内中心部には池があり、梅、椿、桜、花しょうぶ、大賀ハス、新緑・紅葉等、四季折々の彩が訪れる人々を楽しませてくれます。 園内には萬葉集に詠まれている70種の草花のほか260種の山野草が植栽されており、それらを間近に楽しめる「萬葉草花苑」や野津田薬師といわれ薬師如来様が祀られ長く親しまれる薬師堂があります。 江戸時代の古民家2棟（国重要文化財 旧永井家住宅と東京都指定有形文化財 旧荻野家住宅）が移築されています。また、園内には市制施行40周年記念モニュメント「自由民権の像」も建立されています。
開園時間	午前6時～午後6時（6月～8月は午前6時～午後7時） 駐車場は午前5時～午後10時
休園日	年中無休
写真	 

町田市フォトサロン	
概要	武蔵野の面影をとどめる、心やすらぐ景勝の地・薬師池公園にあり、展示の企画、写真愛好家の個展、グループ展での利用、撮影会、講座の開催などの活動を行っています。
開館時間	午前9時30分～午後4時30分
休館日	毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）
写真	

② 西園（ウェルカムゲート）

西園（ウェルカムゲート）	
概要	複数の公園から成る四季彩の杜エリアの核となる施設として2020年4月に開園。町田産農産物を販売する直売所や、カフェ・レストラン、ラボ・体験工房、芝生広場、展望広場、農園などを擁し、食事や散歩が楽しめます。エリア全体を1つの公園とみなすブランディングにより、「集う」「ただ居る」ことができる公園として役割付けをし、園内建物とランドスケープ空間を整備しています。
開園時間	午前5時～午後10時 駐車場同様
休園日	年末年始（12月29日～1月3日）、臨時休館あり（駐車場は年中無休）
写真	

③ リス園

リス園	
概要	リス及びモルモット等の小動物の飼育、放育を行う四季彩の杜の核となる集客施設。就労継続支援B型施設としての役割も担っています。特殊フェンスで囲まれた約2,500㎡のすり鉢状の放飼場には約200匹のタイワンリスが放し飼いされています。他にもウサギやモルモットなどとふれあうコーナーや、リスグッズが豊富な売店もあります。
開園時間	午前10時～午後4時（4月～9月、日祝のみ午前10時～午後5時）
休園日	毎週火曜日、年末年始（12月27日～1月2日）、6月、9月、12月の第1火曜日から金曜日（園内整備のため）
写真	

④ ぼたん園

ぼたん園	
概要	薬師池公園の北側に位置する民権の森公園内にあります。当園には約330種類1,700株のボタンが植え込まれ、4月下旬から5月上旬にかけて、赤やピンク、白、黄色などの色鮮やかな大輪の花を観賞できます。また、地形は七国山と連なる比較的緩やかな、標高75～90メートルの南斜面になっています。もともとは、自由民権運動の指導者であった石阪昌孝の屋敷があった場所で、園内にはその長女美那子と北村透谷が出会ったゆかりの地を記念した、自由民権の碑もあります。この公園に接して、東京都が指定する町田民権の森緑地保全地域が広がっています。
開園時間	午前8時30分～午後4時（通年） ※有料開園時期：4月中旬から5月上旬（開園時間は同じ）
写真	

民権の森緑地保全地域	
概要	鶴見川右岸に位置し、多摩丘陵の一角を占め、七国山緑地保全地域に連なる緑地帯です。区域は民権の森緑地保全地域に指定され、クヌギ・コナラ等を主体とする雑木林が優占し、林内にはベンチ等が設置され散策が楽しめます。
写真	

⑤ 北園

北園	
概要	ぼたん園の南側から西端をふるさと農具館、七国山ファーマーズセンター、東端を野津田町住宅地、南端を生産緑地に挟まれる約7.3haを計画地とし、「豊かな谷戸山の自然や田園風景を後世に継承するとともに、新しい農業を活かした地域づくりと緑地整備（2011年基本構想より）」を目指して、緑地整備が計画されています。
写真	

七国山ファーマーズセンター	
概要	市民の方が自然や農業とふれあうことのできる拠点施設として設置されています。農業に関する資料の展示のほか、各種イベントや講習会の実施など、農業情報の発信地としての役割を担っています。また、七国山散策の休憩場所としても利用可能です。
開業時間	2月～10月：午前9時～午後5時 11月～1月：午前9時～午後4時30分
休業日	毎週月曜日、年末年始（12月25日～1月10日）
写真	

ふるさと農具館	
概要	町田の農業を後世に継承するため、また多くの市民に農業への理解を深めてもらうことを目的に設置されています。パネル館では農業をテーマとしたパネルや写真を展示し、町田の農業などを紹介しています。ふれあい館では、農家の人が使ってきた農機具や生活道具を展示、体験実習館では七国山地区で収穫した菜種を使った油しぼりを毎月1回行い、ここで作られたなたね油の販売を行っています。
開館時間	2月～10月：午前9時30分～午後4時30分 11月～1月：午前9時30分～午後4時
休館日	毎週月曜日、年末年始（12月28日～1月5日）
写真	

⑥ 七国山

七国山緑地保全地域	
概要	町田市の中心部山崎町から野津田町にかけて、七国山という標高128.4メートルの小高い丘があります。これは、かつては頂上より相模、甲斐、伊豆、駿河などの7つの国を眺めることができた山であったことから、峠にその名が付けられたといわれています。現在は「七国山緑地保全地域」に指定されています。この七国山を縦断して、鎌倉古道（鎌倉時代に関東各地から鎌倉へ通じる道のひとつ）が通っており、石碑「七国山鎌倉街道の碑」が建てられています。その側には、街道を往来した旅人や馬などののどをうるおした井戸であると言い伝えられてきた「伝鎌倉井戸」があり、古道のおもかげを偲ぶことができます。
写真	 

⑦ ダリア園

ダリア園	
概要	山崎町の小高い丘にあり、関東以西で最大級のダリア園です。赤、白、黄色など約500品種、4,000株の大・中・小輪のさまざまなダリアが咲き競います。ダリア独特の花色である二色咲き、絞り咲き、ブレンド（ぼかし）など美しさを楽しむ品種や、花径30センチを超える巨大輪から3センチ程のポンポン咲き品種までを一堂に集めています。ダリア園では、年間を通して、障がいのある方たちが、四季折々の草花を栽培し販売しています。
開園時間	午前9時30分～午後4時30分（入園は午後4時まで） 駐車場同様 ※有料開園時期：6月下旬～11月上旬（期間中無休）
写真	

⑧ 南園（えびね苑）

えびね苑	
概要	園内では、ジエビネ、キエビネ、タカネエビネなど約5,000株のエビネが群生するほか、クマガイソウ、クリンソウなどの野草も観賞できます。また、高松宮両殿下が御愛好されていたキエビネを公開しています。また、アジサイが咲く6月上旬には、約10日間の無料開園をして、さまざまな種類のアジサイを鑑賞することができます。17種類、約5,000株が植栽されています。
開園期間	4月下旬～5月上旬（有料） 6月中旬～6月下旬（無料）
開園時間	午前9時30分～午後4時
写真	 

四季彩の杜で

